

巻 頭 言



公益財団法人宮崎県体育協会

会 長 佐 藤 勇 夫

関係各位の皆様におかれましては、日頃より本県スポーツの振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

まずはじめに、熊本地震により被災された皆様に対し、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、本年度の国民体育大会九州ブロック大会 31 競技は本県が中心となり開催されました。この大会に向けて 2 年前より準備を始め、昨年には実行委員会を設立するなど計画的に進めてまいりました。ところが、先に述べました熊本地震により、当初予定していたライフル射撃及びクレー射撃会場での開催ができなくなりました。しかし、この緊急事態に際し、長崎県及び大分県が快く会場使用を引き受けていただき、おかげをもちまして大きな事故等もなく、無事に大会が成功に終わったことに対し、御尽力いただいた全ての方々に心より感謝申し上げます。また、本県の競技結果についても目標とする 40 種別を突破し、21 競技 40 種別が直通競技と併せて本国体に出場いたしました。

そして、「2016 希望郷いわて国体」では選手・監督・コーチ・ドクター・トレーナー・本部役員総勢 509 名が参加いたしました。結果としては、目標としていた天皇杯 30 位台を確保し 39 位。皇后杯は昨年度の最下位から順位を上げ 44 位という成績を残せたことは、携わっていただいた全ての方々の御尽力の賜物だと感じています。特に、カヌー競技、ボウリング競技、ウエイトリフティング競技につきましては、毎年安定した力を発揮していただき、本県の大きな得点源となっていることに改めて感謝申し上げます。

既に九州ブロック大会アイスホッケー競技会が開催され、来年度の国民体育大会の戦いは始まっております。来年度の「愛顔つなぐ えひめ国体」において、本年度の天皇杯・皇后杯順位を上回るためにも、九州ブロック大会長崎大会で本国体出場権を数多く獲得することが重要となります。そして「愛顔つなぐ えひめ国体」では、最後まであきらめない精神で「粘り」を発揮していただきたいと思っております。

結びとして、日頃よりスポーツをこよなく愛する県民の皆様、スポーツに携わっておられる皆様、これからも本協会に対しまして、御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

平成28年度 公益財団法人 宮崎県体育協会役員

区分	氏名	役職・所属団体名	区分	氏名	役職・所属団体名
会長理事	佐藤 勇夫	株式会社宮崎銀行相談役	評議員	佐藤 安一	県銃剣道連盟
副会長理事	野崎 伸一	公益財団法人宮崎市体育協会会長	//	濱上 紀子	県フェンシング協会
//	廣田 彰	県スポーツ指導者協議会会長	//	那須 司	県ボート協会
//	中馬 光久	県カヌー協会会長	//	野村 光秋	県アーチェリー協会
//	塩月光 夫	宮崎ガス株式会社代表取締役会長	//	橋口 昭彦	県セーリング連盟
専務理事	川崎 重雄	公益財団法人宮崎県体育協会	//	富永喜美夫	県ホッケー協会
理事	杉元 雅代	NPO法人東大宮スポーツクラブ事務局長	//	深水 憲一	県空手道連盟
//	田代 長茂	県スポーツ推進委員協議会副会長	//	久保 貴嗣	県スケート協会
//	原田 種英	県スポーツ少年団本部長	//	佐澤 勲	県スキー連盟
//	申間 敦郎	一般財団法人宮崎県陸上競技協会理事長	//	加藤 泰樹	県なぎなた連盟
//	永田 健	宮崎日日新聞社運動部長	//	末安 純平	県カヌー協会
//	尾崎 勝博	県スポーツ医・科学委員会副委員長	//	日高 俊文	県ボウリング連盟
//	谷口 英彦	県高等学校体育連盟会長	//	松浦 牧男	県少林寺拳法連盟
//	齋藤 豊光	県アイスホッケー連盟選手強化委員長	//	吉田 詔一	県四半的弓道連盟
//	坂元 憲一	県卓球協会副会長	//	愛甲 昭彦	県ゲートボール協会
//	原口 宏史	県ボウリング連盟理事長	//	凶師 文明	県アイスホッケー連盟
//	矢野 節男	県剣道連盟理事長	//	窪田 ひとみ	県ミニバレーボール協会
//	鳥居 敏文	県柔道連盟副会長	//	菊池 政雄	県グラウンド・ゴルフ協会
//	伊東 尊見	県水泳連盟名誉会長	//	兵頭 三郎	県武術太極拳連盟
//	高橋 ユキミ	県ミニテニス協会会長	//	切畑 孝俊	県ゴルフ協会
//	本田 達弘	西臼杵郡体育協会副会長	//	浜山 恭光	県トリアスロン連合
//	大原 勉	児湯郡体育協会会長	//	福田 紀行	県綱引連盟
//	鶴田 輝夫	一般財団法人都市体育協会副会長	//	宮川 泰也	県ミニテニス協会
//	福添 忠義	申間市体育協会会長	//	押川 福繁	NPO法人県サーフィン連盟
//	巢立 勝弘	県中学校体育連盟会長	//	松下 國英	県パークゴルフ協会
監事	村吉 和久	公益財団法人宮崎市体育協会専務理事	//	松永 須美子	県エアロビック連盟
//	東長 達也	元県立学校事務長会長	//	斉藤 誠	公益財団法人宮崎市体育協会
評議員	湯前 英則	一般財団法人宮崎陸上競技協会	//	保田 篤則	一般社団法人延岡市体育協会
//	杉村 隆寿	県水泳連盟	//	石原 口秀樹	一般財団法人都市体育協会
//	井星 正人	県バレーボール協会	//	山田 一	日南市体育協会
//	相澤 田豊	県軟式野球連盟	//	堀之内 真澄	小林木市体育協会
//	當瀬 純一	県ソフトテニス連盟	//	瀧井 修	日向市体育協会
//	丸田 哲生	県卓球協会	//	岡留 浩	申間市体育協会
//	重信 和行	県弓道連盟	//	馬渡 和利	西都市体育協会
//	宮永 泰宏	県ラグビーフットボール協会	//	宮田 弘子	えびの市体育協会
//	戸田 光義	一般社団法人県サッカー協会	//	松岡 雄三	児湯郡体育協会
//	佐多 裕之	一般社団法人県バスケットボール協会	//	甲斐 哲也	西臼杵郡体育協会
//	児玉 俊悟	県柔道連盟	//	中本 健太	東臼杵郡体育協会
//	鎌田 勝敏	県剣道連盟	//	蓬原 正嗣	北諸県郡体育協会
//	武田 哲郎	県相撲連盟	//	末永 充	西諸県郡体育協会
//	後藤 憲一	県体操協会	//	田中 俊正	東諸県郡体育協会
//	勝野 雄一郎	県馬術連盟	//	三浦 徹也	県高等学校体育連盟
//	水久保 春好	県クレー射撃協会	//	鬼島 秀晃	県高等学校野球連盟
//	古里 亜夫	県山岳連盟会	//	長友 正明	県中学校体育連盟
//	押川 尚生	県ソフトボール協会	//	内村 仁子	県レクリエーション協会
//	徳永 英敏	県パドミントン協会	//	城野 豊隆	県障がい者スポーツ協会
//	秋田 義久	県テニス協会	//	帖佐 悦男	県体育協会スポーツ医・科学委員会
//	田代 均	県ウエイトリフティング協会	//	甲斐 裕三	県スポーツ施設協会
//	末廣 芳文	県ハンドボール協会	//	甲斐 裕二	公益財団法人みやざき観光コンベンション協会
//	末吉 龍孝	県自転車競技連盟	//	宮元 章次	宮崎公立大学
//	淵ノ上 文也	県レスリング協会	//	福島 慎也	県小学校体育連盟
//	川崎 清次	県ライフル射撃協会	//	岡留 辰郎	県スポーツ推進委員協議会
//	荻原 利文	県ボクシング連盟			

平成28年度 公益財団法人宮崎県体育協会 実施事業(4月～10月)

4/ 6 (水)	第1回県民総合スポーツ祭実行委員会	KIRISHIMAツワブキ武道館大会議室
4/ 7 (木)	九州地区体育協会連絡協議会	宮崎観光ホテル
4/12 (火)	平成28年度九州ブロック大会第3回常任委員会	KIRISHIMAヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所2F大会議室
4/15 (金)	第1回スポーツ少年団中央大会実行委員会	KIRISHIMAツワブキ武道館大会議室
4/18 (月)	チャレンジマッチ第1回常任委員会	KIRISHIMAヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所2F大会議室
4/25 (月)	平成28年度九州ブロック大会第2回実行委員会	KIRISHIMAツワブキ武道館大会議室
4/28 (木)	加盟団体事務事業説明会・国体事務担当者会	KIRISHIMAツワブキ武道館大会議室
5/10 (火)	第1回スポーツ少年団常任委員会・市町村本部長・事務担当者会、スポーツ少年団中央指導者協議会	KIRISHIMAツワブキ武道館大会議室
5/12 (木)	第2回県民総合スポーツ祭実行委員会	KIRISHIMAツワブキ武道館大会議室
5/13 (金)	平成28年度九州ブロック大会競技団体会場地担当者合同会	KIRISHIMAツワブキ武道館大会議室
5/14 (土)	WAP第1期生認定式、競技体験①	宮崎県体育館
5/14(土)～15(日)	スポーツ少年団認定員養成講習会	KIRISHIMAツワブキ武道館大会議室
5/16 (月)	第1回スポーツ医・科学委員会	宮崎県医師会館
5/17 (火)	企画委員会 競技力向上対策委員会	KIRISHIMAヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所2F大会議室
5/20 (金)	強化指定証交付式 第1回選手強化対策会議	KIRISHIMAツワブキ武道館大会議室
5/21 (土)	WAP競技体験②	宮崎県体育館
5/22 (日)	平成28年度九州ブロック大会 夏季大会カヌー競技(SW)	鹿児島県湧水町
5/23 (月)	第1回普及委員会	KIRISHIMAヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所2F大会議室
5/27 (金)	第1回総務委員会	KIRISHIMAヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所2F大会議室
6/ 6 (月)	第2回スポーツ少年団中央大会実行委員会	KIRISHIMAツワブキ武道館大会議室
6/ 7 (火)	第1回スポーツ指導者協議会理事会	KIRISHIMAヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所2F大会議室
6/ 8 (水)	チャレンジマッチ第3回競技部会	KIRISHIMAヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所2F大会議室
6/ 9 (木)	第1回理事会	KIRISHIMAヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所2F大会議室
6/19 (日)	WAP競技体験③	県電ホール、宮崎小学校
6/24 (金)	定時評議員会	KIRISHIMAツワブキ武道館大会議室
6/25(土)～26(日)	第7回宮崎チャレンジマッチ(ボクシング)	宮崎県体育館

6/27 (月)	平成 28 年度九州ブロック大会 夏季大会関係団体連絡会議	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
6/30 (木)	九州ブロック大会夏季大会団旗授与式	県企業局県電ホール
7/ 1 (金)	第 2 回選手強化対策会議、国体出立会	ホテルニューウェルシティ
7/ 2 (土)	WAP 競技体験④	延岡市民体育館
7/ 3 (日)	スポーツ少年団中央大会開会式	KIRISHIMA ツワブキ武道館
7/ 9 (土)	WAP 競技体験⑤	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園体育館
7/16(土)~18(月)	H28 九州ブロック大会夏季大会 (8 競技)	各会場
7/23(土)~24(日)	H28 九州ブロック大会夏季大会 (3 競技)	各会場
7/28 (木)	平成 28 年度九州ブロック大会 秋季大会関係団体会議	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園合宿所
8/ 1 (月)	九州ブロック大会秋季大会団旗授与式	県庁講堂
8/ 2 (火)	H28 九州ブロック大会事務局会議	県庁 4 号館
8/10(水)~12(金)	WAP 夏季合宿⑥⑦⑧	KIRISHIMA ツワブキ武道館 県青島青少年自然の家
8/17(水)~21(日)	H28 九州ブロック大会総合開会式・ 秋季大会 (16 競技)	各会場
8/22(月)~24(水)	ジュニア・リーダーズスクール	青島青少年自然の家
8/24(水)~28(日)	H28 九州ブロック大会秋季大会 (5 競技)	各会場
9/ 2 (金)	第 3 回スポーツ少年団中央大会実行委員会	KIRISHIMA ツワブキ武道館
9/5(月)~11(日)	いわて国体会期前 水球、オープンウォーター、競泳	各会場
9/15 (木)	チャレンジマッチ第 2 回常任委員会・総会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
9/21 (水)	国体結団壮行式	県体育館
9/24 (土)	WAP 競技体験⑩	KIRISHIMA ツワブキ武道館
10/1(土)~11(火)	いわて国体	各会場
10/13 (木)	第 2 回スポーツ指導者協議会理事会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
10/14 (金)	スポーツ少年団第 2 回常任委員会 スポーツ少年団中央指導者協議会	KIRISHIMA ツワブキ武道館大会議室
10/15 (土)	WAP 第 1 次オーディション (都城)	早水体育文化センター
10/16 (日)	WAP 第 1 次オーディション (延岡)	延岡市民体育館
10/21 (金)	女性アスリート研修会①	KIRISHIMA ツワブキ武道館大会議室
10/22 (土)	WAP 第 1 次オーディション (宮崎)	県体育館
10/23 (日)	WAP 競技体験⑪	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園体育館

※ WAP とは「ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト」の略称です。

平成28年度国民体育大会 第36回九州ブロック大会 本県開催!

本県が主管県となり、平成28年度国民体育大会第36回九州ブロック大会が、県内5市3町、県外4市1町で開催されました。それに伴い、去る8月19日(金)、宮崎観光ホテルに於いて総合開会式が盛大に行われました。

本県の競技結果としては、九州代表権数を40種目獲得し目標を突破することができました。また本大会を通して、10年後に本県で開催される2巡目国体の礎になったことと思います。

この大会に向け2年前より段階的に取り組み、御尽力いただいた関係競技団体、開催市町、関係機関の全ての方々に心より感謝申し上げます。



河野知事の歓迎のこたば



佐藤会長のあいさつ



宮崎県の入場行進



大分県から宮崎県への大会旗引継ぎ



選手宣誓者の野中選手【弓道成年女子】



プラカードー宮崎日本大学高校の生徒さん

公益財団法人 宮崎県体育協会表彰

公益財団法人宮崎県体育協会スポーツ功労賞・優秀賞・奨励賞・推進賞（平成27年度）の表彰式が、6月4日（土）、KIRISHIMA ヤマザクラ宮崎県総合運動公園内「KIRISHIMA 木の花ドーム」において行われました。

宮崎県体育協会表彰とは、多年にわたり本県体育・スポーツの普及・振興に寄与され、その功績の顕著な方をスポーツ功労者として、また、国内外のトップレベルの大会で優秀な成績を収めた方をスポーツ優秀者として、そして、国内外のトップレベルに準ずる優秀な成績をあげた方にスポーツ奨励者として、県民に感動を与え又は、本県の発展に貢献された方をスポーツ推進者として表彰するものです。受賞者は以下のとおりです。

スポーツ功労賞（個人）



藤原 敏郎

宮崎陸上競技協会審判長

宮崎陸上競技協会審判長として、公正な競技会運営に尽力した。



染矢 儀博

宮崎県軟式野球連盟審判部長

宮崎県軟式野球連盟審判長として、審判技術の向上に貢献した。



岩田 勝彦

前宮崎県柔道連盟理事長（故人）

前宮崎県柔道連盟理事長として、本県柔道の普及・発展に貢献した。



今堀 幸雄

宮崎県ソフトボール協会副理事長

県ソフトボール協会副理事長として本県ソフトボールの発展に尽力した。



西村 盛正

宮崎県レスリング協会副会長

県レスリング協会副会長として、本県レスリングの普及・発展に貢献した。



杉田 藤一

宮崎県銃剣道連盟都城支部長

永年にわたり、銃剣道における優秀な成績を収め、選手育成にも尽力した。



佐藤 三夫

宮崎県アーチェリー協会理事兼競技運営部長

県協会運営部長として大会運営方法の確立に尽力した。



松川 仁三

日南市空手道連盟理事

地区における空手道の普及・発展、指導者育成に貢献した。



川良 文弘

宮崎県グラウンドゴルフ協会理事

各種大会の企画運営に携わり親睦優和と健康づくりに尽力した。



越口 皐月

宮崎県グラウンドゴルフ協会女性部部长

県下28支部を統括し、県協会女性部設立に尽力した。



中原 正樹

前宮崎県高等学校野球連盟会長

前県高野連会長として、本県高校野球強化事業に取り組み、競技力向上に尽力した。



小田 義洋

宮崎県ソフトテニス連盟強化部長

本県ソフトテニス連盟強化部長として競技力向上、選手の育成に尽力した。



小西 常夫

宮崎県ソフトテニス連盟理事小学部部長

本県ソフトテニス連盟小学部部長として各種大会の運営や選手の育成に尽力した。



岩嶋 泰彦

宮崎県ラグビーフットボール協会理事

総務委員会副委員長

永年にわたり、本県ラグビーフットボール協会の組織基盤づくりに尽力した。

スポーツ功劳賞(団体)

高岡町グラウンド・ゴルフ協会

グラウンドゴルフの普及振興と心身の健全な向上、会員相互の親睦優和に取り組んでいる模範団体である。

●スポーツ功劳賞(14名/1団体)

スポーツ優秀賞(個人)



村山 絃太

旭化成陸上競技部

●第99回日本陸上競技選手権大会男子5,000m 優勝 ●2015八王子ロングディスタンス男子 10,000m 27分 29秒 69 ※日本新



鎧坂 哲哉

旭化成陸上競技部

●第99回日本陸上競技選手権大会 男子 10,000m 優勝 ●ナイト・オブ・アスレティックスヒューズデン・ゾルダー 男子 5,000m 13分 12秒 63 ※日本新 ●2015八王子ロングディスタンス 男子 10,000m 27分 29秒 74 ※日本新



出口 和也

旭化成陸上競技部

●第99回日本陸上選手権大会 男子 5,000m 第3位



佐々木 悟

旭化成陸上競技部

●第69回福岡国際マラソン選手権大会(兼)第31回オリンピック競技大会(兼)第99回日本陸上競技選手権大会 男子マラソン 第3位



河野 充志

九州共立大学陸上競技部

●第84回日本学生陸上競技対校選手権大会 男子やり投 第3位 ●第31回日本ジュニア陸上競技選手権大会 男子やり投 優勝



川田 直諒

旭化成ソフトボール部

●第14回世界男子ソフトボール選手権大会 アジア地区予選 優勝 ●第14回世界男子ソフトボール選手権大会 第5位



松岡 真央

旭化成ソフトボール部

●第14回世界男子ソフトボール選手権大会 アジア地区予選 優勝 ●第14回世界男子ソフトボール選手権大会 第5位



中井 彩子

鹿屋体育大学

●全日本学生選手権トラック自転車競技大会 インディヴィジュアルパーシュート 第2位 ●全日本大学対抗選手権大会自転車競技大会 インディヴィジュアルパーシュート 第2位 個人ロードレース 第3位



米良 孝太

旭化成ソフトボール部

●第14回世界男子ソフトボール選手権大会 アジア地区予選 優勝 ●第14回世界男子ソフトボール選手権大会 第5位



大野 かいり

宮崎産業経営大学

●第50回全日本サーフィン選手権大会 ウィンメンクラス 第2位 ●2015日本サーフィン連盟年間ランキング ウィンメンクラス 第4位



西村 拳

近畿大学 空手部

●第59回全日本学生空手道選手権大会 男子個人組手 優勝



指原 裕也

宮崎産業経営大学

●第50回全日本サーフィン選手権大会 メンクラス 第2位 ●2015日本サーフィン連盟年間ランキング メンクラス 第4位



百合草 綾

日本サーフィン連盟宮崎支部

●第50回全日本サーフィン選手権大会 シニアウィンメンクラス 第2位 ●2015日本サーフィン連盟年間ランキング シニアウィンメンクラス 第4位



松田 丈志

セガサミーホールディングス

●FINA スイミングワールドカップ 2015 東京大会 男子 200m 自由形 第6位



竹ノ内 佑也

警視庁

●第16回世界剣道選手権大会 団体戦(先鋒) 優勝 個人戦 第2位



矢野 秀幸

ヤノパワージム

●2015年第15回世界マスターズ ベンチプレス選手権大会 優勝



廣田 彰

宮崎大学名誉教授

●第32回全日本シニアバドミントン選手権大会 70歳以上男子シングルス 優勝 男子ダブルス 第2位 ●第7回世界シニアバドミントン選手権大会 70歳以上男子ダブルス 第2位

スポーツ優秀賞 (団体)

日本サーフィン連盟宮崎支部

第50回全日本サーフィン選手権大会 団体 優勝

●スポーツ優秀賞(17名/1団体)

スポーツ奨励賞 (個人)



宇都宮 亜依

宮崎銀行女子陸上部

● 第70回九州陸上
競技選手権大会 女子
10,000m 優勝



本田 匠

旭化成延岡陸上部

● 第70回九州陸上
競技選手権大会 男子
10,000m 優勝



清水 将也

旭化成延岡陸上部

● 第70回九州陸上
競技選手権大会 男子
5,000m 優勝

スポーツ奨励賞 (団体)

宮崎県空手道連盟

第41回全九州空手道選手権大会 成年男子組手団体戦 優勝

●スポーツ奨励賞(3名/1団体)

スポーツ推進賞

医療法人慶心会川越整形外科

国民体育大会へアスレティックトレーナーを10年以上派遣し、本県選手団の活躍に大きく貢献した。

南九州化学工業株式会社

ホッケー競技の練習会場としてグラウンドを提供し、本県ホッケー競技の普及・発展に大きく貢献した。

●スポーツ推進賞(2団体)

日本スポーツ少年団・県スポーツ少年団 指導者・単位団表彰

平成28年度日本スポーツ少年団指導者表彰、宮崎県スポーツ少年団指導者・単位団表彰が、7月3日(日)第52回宮崎県スポーツ少年団中央大会総合開会式で行われました。

多年にわたり本県スポーツ少年団の発展に寄与され、その功績の顕著な方または団体に贈られたこの表彰を、宮崎県スポーツ少年団原田種英本部長が表彰を行いました。

日本スポーツ少年団 指導者顕彰



佐谷野 力

宮崎市スポーツ少年団本部
(宮崎市)

昭和60年から高岡町
スポーツ少年団事務局
長として宮崎市との合
併後は本部長としてス
ポーツ少年団の普及・
発展に寄与しました。



平角 達美

ななつばえ陸上スポーツ少年団
(日南市)

平成2年のななつばえ
陸上スポーツ少年団設
立から指導者として団
員の育成に努めながら、
日南市の陸上競技の普
及発展に尽力しました。



横山 富美夫

誠之館道場スポーツ少年団
(都城市)

昭和58年から指導者
として少年団活動をと
おして団員の健全な育
成に努め、市スポーツ
少年団種目理事として
も尽力しました。

●日本スポーツ少年団指導者顕彰3名

宮崎県スポーツ少年団 指導者表彰



小玉 弘明

新光陸上(日南市)



松尾 裕司

明道(都城市)



畝原 寿雄

冠月館(日向市)



中山 伊知郎

FCバリエンテ
(三股町)



朝倉 覚

錬心館三股支部
(三股町)

●宮崎県スポーツ少年団功労賞(個人)5名

宮崎県スポーツ少年団
単位団表彰



ワールドボーイ (宮崎市)



潮見 VBC (宮崎市)



五十市タイガース (都城市)



山田野球 (都城市)



新光陸上 (日南市)



少林寺拳法三股 (三股町)

●宮崎県スポーツ少年団功労賞(団体)6団体

リオ五輪(本県関係者) 及び国民体育大会総括

宮崎県体育協会 専務理事 川崎重雄 (国民体育大会総監督)

リオデジャネイロ・オリンピックで本県関係者が大活躍 ～選手・監督・コーチ・役員で10名が日本代表として出場～

日本男子柔道全階級でメダル! 井上康生監督の手腕が光る。

柔道競技 男子 100kg 級	羽賀龍之介 選手	銅メダル
水泳競技 男子 800m リレー	松田 丈志 選手	銅メダル
サッカー競技	興梠 慎三 選手	
ゴルフ競技	大山 志保 選手	
陸上競技 女子走り幅跳び	甲斐 好美 選手	
ウエイトリフティング競技 56kg 級	高尾 宏明 選手	
ラグビー競技 7人制女子	三樹 香奈 選手	
柔道競技 審判員	大迫 明伸 国際審判員	
水泳競技 パーソナルコーチ	久世由美子 コーチ	

東日本大震災復興の架け橋 第71回国民体育大会 2016希望郷 いわて国体

天皇杯 第39位(768.5点) 皇后杯 第44位

8年ぶりに宮崎県で開催された第36回九州ブロック国体において、21競技40種目の代表権を獲得し、岩手の地での活躍を予感させました。

県勢の31競技に選手・監督ら385名が、応援して下さる県民の皆様に「元気」「勇気」「感動」を届ける気持ちで戦いました。団体7競技8種別、個人競技11競技49種目で入賞。競技得点368.5点を獲得し、天皇杯順位を39位としました。

今大会には、リオデジャネイロ五輪で活躍した競泳の松田丈志選手やウエイトリフティングの高尾宏明選手が「チーム宮崎の一員」として競技得点獲得に貢献しました。

出場全選手が入賞し、過去最多の106点を稼ぎ出したカヌー競技をはじめ、「高校6冠」を達成した齋藤麗王選手、初優勝の中垣龍汰朗選手を含む8人入賞のボクシング競技。卓球で本県初の準優勝に輝いた少年男子県選抜など輝かしい活躍がありました。

宮崎県代表として国民体育大会へ競技団体あげて本気度の高い取組が、九州ブロック突破の情報収集や独特の戦術・戦略の工夫研究の成果として結果を出していることが伺える大会でありました。二巡目宮崎国体へ向かって大いに期待が持てる大会となりました。

東日本大震災や台風の被害の爪痕残る岩手県での開催でありました。復興への力強い取組が続けられている岩手県民の皆様へ心より尊敬と感謝を申し上げます。

ありがとう! 感謝!! 松田丈志選手、久世由美子コーチ

18年間の選手生活の引退を国体で有終の美を飾る最後まで「チーム宮崎」の一員を貫いてくださいました

東日本大震災復興支援 第71回国民体育大会の結果

1. 総合成績 (男女総合:天皇杯)

天皇杯得点 **768.5点** **39位** (昨年 **707.5点** **42位**)
皇后杯得点 **440.5点** **44位** (昨年 **334.5点** **47位**)

2. 成績の推移

年	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
開催県	秋田	大分	新潟	千葉	山口	岐阜	東京	長崎	和歌山	岩手
順位	36	37	46	41	28	37	38	19	42	39
競技得点	419.0	389.0	232.5	329.5	519.0	394.5	378.0	601.0	307.5	368.5

3. 成年少年・男女別競技得点 (参加点400点を含まない)

平成28年				平成27年				増減(28-27)			
成年男子	114.5	成年	142.5	成年男子	171.0	成年	196.5	成年男子	△56.5	成年	△54.0
成年女子	28.0			成年女子	25.5			成年女子	2.5		
少年男子	158.5	少年	226.0	少年男子	82.0	少年	111.0	少年男子	76.5	少年	115.0
少年女子	67.5			少年女子	29.0			少年女子	38.5		
合計	368.5	男子	273.0	合計	307.5	男子	253.0	合計	61.0	男子	20.0
		女子	95.5			女子	54.5			女子	41.0

4. 競技種目別

(1) 団体競技

競技	種別	(所属等)	順位	競技得点
卓球	少年男子	選抜(内村、熊本、龐)	第2位	21.0
ソフトテニス	成年男子	選抜(鹿島、井口雄一、上村、井口雄介、中村)	第4位	25.0
サッカー	成年男子	選抜(ホンダロック、宮崎産経大他)	第5位タイ	20.0
剣道	少年男子	選抜(多田、清家、野中、高橋、山下)	第5位タイ	12.5
	成年女子	選抜(中武、興梠、増田)	第5位タイ	7.5
バドミントン	成年男子	選抜(渡邊、春成、緒方)	第5位タイ	7.5
テニス	成年男子	選抜(染矢、小村)	第7位	6.0
ゴルフ	少年男子	選抜(中村、井戸川、吉行)	第7位タイ	3.0
7競技 8種別 男子7 女子1 昨年(6競技 8種別 男子5 女子3)			合計(昨年)	102.5(137.0)

(2) 個人競技

競技	種別	選手名(所属)	順位	競技得点
カヌー	成年男子	松田(鹿屋体育大)	第8位	1.0
	少年男子	横山(宮崎商業高)	第2位、第5位	11.0
		黒木(宮崎商業高)・岡原(宮崎大宮高)	第2位、第4位	36.0
		石川・溝口(宮崎大宮高)	第6位	9.0
	少年女子	谷脇(宮崎大宮高)	第5位	4.0
		榎木・御手洗(宮崎商業高)	第3位、第5位	30.0
		佐々木・津曲・藤崎・松井(宮崎商業高)	第6位、第7位	15.0
計				106.0
ボクシング	成年男子	森(東京農業大)	第5位タイ	2.5
		奥田(東京農業大)	第5位タイ	2.5
		押川(東京農業大)	第5位タイ	2.5
		神崎(近畿大)	第5位タイ	2.5
	少年男子	中垣(日章学園高)	第1位	8.0
		齋藤(日章学園高)	第1位	8.0
		井上彪(日章学園高)	第2位	7.0
吉野(日章学園高)	第2位	7.0		
計				40.0
ウエイト リフティング	成年男子	高尾(自衛隊体育学校)	第5位、第5位	8.0
		青野(日本大)	第3位	6.0
		徳永(日本体育大)	第6位、第7位	5.0
	少年男子	中村(みやざき中央支援学校教員)	第6位	3.0
		宮原(小林高)	第5位、第7位	6.0
		關屋(小林秀峰高)	第8位	1.0
女子	内門(早稲田大)	第8位	1.0	
計				30.0
陸上競技	成年女子	清山(いちご・宮交シティ)	第3位	6.0
		近藤(環太平洋大)	第4位タイ	4.5
	少年男子	村富(日南高)	第3位	6.0
		水久保(宮崎工業高)	第4位	5.0
	少年女子	田中(小林高)	第8位	1.0
下田平(小林高)	第6位	3.0		
計				25.5
レスリング	成年男子	川野(自衛隊体育学校)	第3位タイ	5.5
		守部(青山学院大)	第5位タイ	2.5
	少年男子	境(宮崎工業高)	第3位タイ	5.5
		日高(宮崎日大高)	第5位タイ	2.5
計				16.0
ライフル射撃	成年男子	持永(いちご・宮交シティ)	第3位	6.0
	成年女子	松本(いちご・宮交シティ)	第3位、第6位	9.0
計				15.0
空手道	少年女子	八頭司(宮崎第一高)	第1位	8.0
		宜保(宮崎第一高)	第5位タイ	2.5
計				10.5
ボウリング	成年男子	大山(大山解体)・加治佐(宮崎交通)	第8位	3.0
	少年男子	小山田(宮崎北高)・北里(宮崎大宮高)	第7位	6.0
計				9.0
水泳	成年男子	松田(セガサミーホールディングス)	第3位	6.0
	計			
馬術	少年	瀬之口(宮崎大宮高)	第4位	5.0
		計		
自転車	少年男子	山下(都城工業高)	第6位	3.0
		計		
11競技 49種目 男子34 女子15			昨年(8競技 29種目 男子24 女子5)	合計(昨年) 266.0(170.5)

第71回 国民体育大会
『2016 希望郷いわて国体』

宮崎県選手団競技成績一覧①

競技	種別	種目	氏名	所属	結果・記録	結果
陸上	成年男子	100m	本部 晃司	徳山大学	予選5組→10秒72(4位)・準決勝→10秒66(7位)	準決勝敗退
		400m	野村 一輝	中京大学	予選3組→棄権	棄権
		800m	八谷 弘樹	航空自衛隊	予選1組→1分52秒25(4位)	予選敗退
		やり投	河野 充志	九州共立大学	決勝→記録なし	記録なし
		走幅跳	戸高 晋吾	岐阜経済大学	決勝→7m52(13位)	第13位
	成年女子	100m	松田 優美	環太平洋大学	予選2組→12秒18(3位)・準決勝1組→12秒14(5位)	準決勝敗退
		400m	近藤 夏奈		予選2組→55秒92(2位)・決勝→55秒78(4位タイ)	第4位タイ
		ハンマー投	メイン 桜	九州共立大学	決勝→51m93(16位)	第16位
	少年男子A	100mH	清山ちさと	いちご・宮交シティ	予選3組→13秒84(1位)・決勝→13秒53(3位)※追風参考	第3位
		100m	水久保漱至	宮崎工業高等学校	予選3組→10秒44(1位)※追風参考・準決勝2組→10秒53(2位) 決勝→10秒69(4位)	第4位
		400m	村富浩太郎	日南高等学校	予選1組→49秒03(5位)	予選敗退
		400mH			予選2組→53秒75(2位)・決勝→52秒72(3位)	第3位
		500m	田中 康靖	小林高等学校	決勝→14分5秒22(8位)	第8位
	少年男子共通	棒高跳	高木 紘哉	宮崎工業高等学校	決勝→記録なし	記録なし
		三段跳	北林 涼馬	宮崎第一高等学校	決勝→14m06(15位)	第15位
	少年男子B	100m	北ノ園敦也	宮崎工業高等学校	予選6組→11秒26(7位)	予選敗退
		3000m	駐地 貴斗	小林高等学校	予選1組→8分43秒71(15位)	予選敗退
	少年女子A	100m	田代なる実	宮崎商業高等学校	予選3組→12秒46(7位)※追風参考	予選敗退
		3000m	吉蘭 菜	小林高等学校	決勝→10分1秒35(25位)	第25位
		400mH	河野 志歩	宮崎商業高等学校	予選4組→1分3秒13(3位)・準決勝1組→1分2秒21(6位)	準決勝敗退
	走幅跳	川野 伶奈	決勝→5m31(22位)		第22位	
	少年女子共通	三段跳	川野 伶奈		決勝→11m44(20位)	第20位
		1500m	下田平 渚	小林高等学校	予選1組→4分38秒78(4位)・決勝→4分24秒48(6位)	第6位
	少年女子B	100m	神田あやの	宮崎西中学校	予選5組→12秒63(4位)・準決勝3組→12秒47(5位)	準決勝敗退
		走幅跳			決勝→5m54(14位)	第14位
	少年女子共通	100mH	上之園結子	宮崎工業高等学校	予選2組→14秒62(6位)	予選敗退
円盤投		岡本 光生		決勝→36m10(12位)	第12位	
成年男共通	4×100MR	宮崎選抜(水久保・平田・川添・本部)		予選1組→41秒22(6位)・準決勝3組→40秒59(3位)	準決勝敗退	
成年女共通		宮崎選抜(矢野・松田・田代・清山)		予選1組→47秒06(5位)・準決勝1組→47秒11(6位)	準決勝敗退	
水泳(水球)	少年男子	団体	宮崎県選抜	1回戦→宮崎県5-29埼玉県	1回戦敗退	
水泳(競泳)	成年男子	400m自由形	松田 丈志	セガミーホールディングス(株)	予選2組→3分54秒75(1位)・決勝→3分51秒12(3位)	第3位
	成年女子	100mバタフライ	大木場真由	鹿屋体育大学	予選1組→1分2秒20(7位)	予選敗退
	少年男子A	200m背泳ぎ	門田 凌我	宮崎南高等学校	予選3組→2分6秒56(5位)	予選敗退
		100m自由形	測 雅頭	宮崎学園高等学校	予選1組→53秒14(2位)	予選敗退
	少年男子B	400m自由形			予選2組→4分7秒76(6位)	予選敗退
		100m平泳ぎ	吉田 拓斗	妻ヶ丘中学校	予選2組→1分55秒66(6位)	予選敗退
	少年男子A	800mR	宮崎県選抜(測・菊池・内田・門田)		予選2組→7分55秒79(7位)	予選敗退
400mメドレーR		宮崎県選抜(門田・立山・菊池・測)		予選1組→3分54秒07(6位)	予選敗退	
水泳(オープンウォーター)	男子	男子5km	節政 健一	旭化成ファインケム	決勝→1時間17分24秒3(38位)タイム・順位は参考	第38位※参考
サッカー	成年男子	団体	宮崎県選抜	1回戦→宮崎県1-0山梨県・準々決勝→宮崎県0-1静岡県	第5位タイ	
	少年男子			1回戦→宮崎県1-0香川県・2回戦→宮崎県2-3広島県	2回戦敗退	
テニス	成年男子	団体	宮崎県選抜(染矢・小村)	1回戦→宮崎県2-0京都府・2回戦→宮崎県2-0山形県 準々決勝→宮崎県0-2長野県・順位決定戦→宮崎県1-2大阪府	第7位	
	少年男子			宮崎県選抜(畑中・小泉)	2回戦→宮崎県0-2岩手県	2回戦敗退
	少年女子		宮崎県選抜(坂本・東)	1回戦→宮崎県2-1奈良県・2回戦→宮崎県1-2福岡県	2回戦敗退	
ボート	成年男子	ダブルスカル	押川 海斗	富山国際大学	予選B組→3分35秒72(6位)	予選敗退
	少年男子	舵手つきフォドルブル	兒玉 紘明	仙台大学		
ボクシング	成年男子	ライトフライ級	森 義明	東京農業大学	1回戦→森(宮崎)【判定勝】大里(埼玉)・準々決勝→森(宮崎)【判定負】坪井(静岡)	第5位タイ
		フライ級	奥田 大輔		1回戦→奥田(宮崎)【判定勝】増田(広島)・準々決勝→奥田(宮崎)【判定負】嶋田(愛媛)	第5位タイ
		バンタム級	井上 颯	近畿大学	2回戦→井上(宮崎)【判定負】矢代(埼玉)	2回戦敗退
		ウェルター級	押川 幸輝	東京農業大学	1回戦→押川(宮崎)【判定勝】渡辺(青森)・準々決勝→押川(宮崎)【判定負】浦嶋(熊本)	第5位タイ
		ミドル級	神崎 敦志	近畿大学	準々決勝→神崎(宮崎)【判定負】梅村(岩手)	第5位タイ
	少年男子	ライトフライ級	濃村悠太郎	日章学園高等学校	1回戦→濃村(宮崎)【判定負】穴口(奈良)	1回戦敗退
		フライ級	中垣龍汰朗		1回戦→中垣(宮崎)【判定勝】中谷(京都)・準々決勝→中垣(宮崎)【TKO勝】小川(岐阜) 準決勝→中垣(宮崎)【判定勝】松本(神奈川)・決勝→中垣(宮崎)【判定勝】川副(鳥取)	第1位
		バンタム級	井上 彪		2回戦→井上(宮崎)【判定勝】関(佐賀)・準々決勝→井上(宮崎)【判定勝】村上(熊本) 準決勝→井上(宮崎)【判定勝】細野(北海道)・決勝→井上(宮崎)【判定負】今永(奈良)	第2位
		ライト級	齋藤 麗王		1回戦→齋藤(宮崎)【TKO勝】森脇(鳥取)・準々決勝→齋藤(宮崎)【TKO勝】住吉(広島) 準決勝→齋藤(宮崎)【判定勝】牛田(愛知)・決勝→齋藤(宮崎)【判定勝】森下(京都)	第1位
		ミドル級	吉野 健吾		1回戦→吉野(宮崎)【判定勝】斎藤(青森)・準々決勝→吉野(宮崎)【判定勝】内田(栃木) 準決勝→吉野(宮崎)【判定勝】菊池(岩手)・決勝→吉野(宮崎)【判定負】根本(千葉)	第2位
バドミントン	成年男子	団体	宮崎県選抜	2回戦→宮崎県77-92福島県	2回戦敗退	

第71回 国民体育大会
『2016 希望郷いわて国体』

宮崎県選手団競技成績一覧②

競技種別	種目	氏名	所属	結果・記録	結果		
レスリング	成年男子	フリースタイル57kg級	川野 陽介	自衛隊体育学校	・2回戦→川野(宮崎)6-3大城(沖縄)・準々決勝→川野(宮崎)【Tフォール勝】寺田(群馬) ・準決勝→川野(宮崎)8-9守田(和歌山)	第3位タイ	
		フリースタイル61kg級	比江島研吾	青島青少年自然の家	・2回戦→比江島(宮崎)【不戦負】成國(三重)	2回戦敗退	
		グレコローマンスタイル71kg級	柴田 慎吾	福島高等学校(教)	・1回戦→柴田(宮崎)1-2小路(埼玉)	1回戦敗退	
		グレコローマンスタイル85kg級	福岡 達博	中央大学	・1回戦→福岡(宮崎)【Tフォール負】坂野(広島)	1回戦敗退	
		グレコローマンスタイル98kg級	守部 克秀	青山学院大学	・1回戦→守部(宮崎)【フォール勝】山田(山口)・準々決勝→守部(宮崎)【Tフォール負】大坂(秋田)	第5位タイ	
	少年男子	フリースタイル50kg級	黒木 柁統	東洋大学	・1回戦→黒木(宮崎)【Tフォール負】曾我部(徳島)	1回戦敗退	
		フリースタイル50kg級	日高 兼士	宮崎日本大学高等学校	・2回戦→日高(宮崎)【判定勝】鈴木(大分)・準々決勝→日高(宮崎)【フォール負】森川(東京)	第5位タイ	
		フリースタイル66kg級	長崎 俊太	宮崎農業高等学校	・1回戦→長崎(宮崎)【フォール勝】佐藤(宮城)・2回戦→長崎(宮崎)【Tフォール負】馬渡(長崎)	2回戦敗退	
		フリースタイル74kg級	矢野 省吾	宮崎工業高等学校	・2回戦→矢野(宮崎)【Tフォール負】平山(宮城)	2回戦敗退	
		フリースタイル96kg級	荒殿 竜一		・2回戦→荒殿(宮崎)【Tフォール負】山本(静岡)	2回戦敗退	
		グレコローマンスタイル55kg級	椎葉 佳己	宮崎農業高等学校	・2回戦→椎葉(宮崎)1-6岡本(和歌山)	2回戦敗退	
		グレコローマンスタイル84kg級	分田 豪	日南振徳高等学校	・1回戦→分田(宮崎)【Tフォール負】小川(石川)	1回戦敗退	
		グレコローマンスタイル120kg級	境 晟道	宮崎工業高等学校	・2回戦→境(宮崎)【フォール勝】山口(鳥取)・準々決勝→境(宮崎)【フォール勝】鈴木(茨城) ・準決勝→境(宮崎)【Tフォール負】仲里(沖縄)	第3位タイ	
女子	フリースタイル53kg級	松下 翔子	日南振徳高等学校	・1回戦→松下(宮崎)【Tフォール負】八木(愛媛)	1回戦敗退		
セーリング	成年男子	470級	平島 昇 原竹 優弥	日南振徳高等学校(教) 慶応義塾大学	・1日目→66(33位)・2日目→69(28位)・最終日→135(29位)	第29位	
		レーザー級	門川 翔哉	九州測量専門学校	・1日目→80(42位)・2日目→106(42位)・最終日→189(44位)	第44位	
		国体ウインドサーフィン級	西岡 秀樹	宮崎県庁	・1日目→61(29位)・2日目→75(26位)・最終日→106(23位)	第23位	
	成年女子	セービングスピリッツ級	竹下 萌香 山下 美紅	鹿児島医療技術専門学校 日本大学	・1日目→48(27位)・2日目→60(26位)・3日目→87(28位) ・最終日→87(28位)※天候不良の為前日までの結果	第28位	
		国体ウインドサーフィン級	竹原 唯梨	大分大学	・1日目→30(15位)・2日目→46(15位)・最終日78(16位)	第16位	
	少年男子	420級	坂本 悠大 松野 圭吾	宮崎海洋高等学校	・1日目→46(24位)・2日目→75(30位)・最終日124(28位)	第28位	
		レーザーラジアル級	田川 雅貴		・1日目→55(29位)・2日目→88(31位)・最終日→134(30位)	第30位	
		420級	井戸 美幸 長尾 芽依	日南振徳高等学校	・1日目→20(9位)・2日目→42(11位)・3日目→57(16位) ・最終日→57(16位)※天候不良の為前日までの結果	第16位	
	レーザーラジアル級	鈴木身祐希	・1日目→13(13位)・2日目→53(19位)・3日目→67(18位) ・最終日→67(18位)※天候不良の為前日までの結果		第18位		
	ウェイトリフティング	成年男子	53kg級スナッチ	中村 友生	みやざき中央支援学校(教)	スナッチ 88kg(6位)	第6位
53kg級C&J			クリーン&ジャーク 108kg(9位) トータル 196kg(7位) ※得点対象外			第9位	
56kg級スナッチ			徳永 亮汰	日本体育大学	スナッチ93kg(7位)	第7位	
56kg級C&J					クリーン&ジャーク 116kg(6位) トータル 209kg(7位) ※得点対象外	第6位	
62kg級スナッチ			高尾 宏明	自衛隊体育学校	スナッチ 110kg(5位)	第5位	
62kg級C&J					クリーン&ジャーク 140kg(5位) トータル 250kg(4位) ※得点対象外	第5位	
85kg級スナッチ		青野 靖希	日本大学	スナッチ 125kg(13位)	第13位		
85kg級C&J				クリーン&ジャーク 171kg(3位) トータル 296kg(7位) ※得点対象外	第3位		
女子		63kg級スナッチ	内門 沙綾	早稲田大学	スナッチ 74kg(13位)	第13位	
		63kg級C&J			クリーン&ジャーク 98kg(8位) トータル 172kg(10位) ※得点対象外	第8位	
		62kg級スナッチ	宮原 翔角	小林高等学校	スナッチ 94kg(7位)	第7位	
		62kg級C&J			クリーン&ジャーク 120kg(5位) トータル 214kg(7位) ※得点対象外	第5位	
69kg級スナッチ		關屋 光翼	小林秀峰高等学校	スナッチ 94kg(9位)	第9位		
69kg級C&J				クリーン&ジャーク 120kg(8位) トータル 214kg(9位) ※得点対象外	第8位		
105kg級スナッチ	鎌田 哲朗	小林高等学校	スナッチ 95kg(16位)	第16位			
105kg級C&J			クリーン&ジャーク 123kg(13位) トータル 218kg(15位) ※得点対象外	第13位			
自転車	成年男子	ポイントレース	野崎祐一郎	日本大学	・予選1組→途中棄権	途中棄権	
		ケイリン	坂本 佳哉	宮崎農業高等学校(教)	・1回戦6組→第5位・敗者復活戦5組→第5位	敗者復活戦敗退	
		スプリント	松本 一志	日本大学	・予選→11秒079(14位)・1/8決勝3組→第2位	1/8 決勝敗退	
		スクラッチ	沼口 竜馬		・予選2組→第12位	予選敗退	
	女子	スクラッチ	中井 彩子	鹿屋体育大学	・予選1組→第12位	予選敗退	
		スクラッチ	山下 一輝	都城工業高等学校	・予選1組→第8位・決勝→第6位	第6位	
	スプリント	前畠 佑介	・予選→12秒065(28位)		予選敗退		
	ポイントレース	石川 航大	・予選2組→途中棄権		途中棄権		
	ケイリン	枝村 弘樹	・1回戦5組→第2位・2回戦4組→第4位		2回戦敗退		
	1kmタイムトライアル	清家 由宇	延岡工業高等学校	・決勝→1分11秒152(27位)	第27位		
	女子	ケイリン	岩元 杏奈	都城工業高等学校	・1回戦6組→第2位・2回戦1組→第6位	2回戦敗退	
	成年男子	ロード	野崎祐一郎	日本大学	・決勝→途中棄権	途中棄権	
			沼口 竜馬		・決勝→途中棄権	途中棄権	
		少年男子	ロード	清家 由宇	延岡工業高等学校	・決勝→途中棄権	途中棄権
			ロード	石川 航大	都城工業高等学校	・決勝→途中棄権	途中棄権
	男子	チームスプリント	宮崎県選抜(松本・坂本・枝村)		・予選→1分7秒979(31位)	予選敗退	
チームパシュート		宮崎県選抜(野崎・沼口・前畠・石川)		・予選→4分39秒822(27位)	予選敗退		
女子		チームスプリント	宮崎県選抜(中井・岩元)		・予選→51秒576(19位)	予選敗退	

第71回 国民体育大会
『2016 希望郷いわて国体』

宮崎県選手団競技成績一覧③

競技	種別	種目	氏名	所属	結果・記録	結果
ソフトテニス	成年男子	団体	宮崎県選抜 (鹿島・井口一・井口介・上村・中村)		・1回戦→宮崎県3-0富山県・準々決勝→宮崎県2-0千葉県 ・準決勝→宮崎県0-2北海道・3位決定戦→宮崎県1-2和歌山県	第4位
	成年女子		宮崎県選抜(林・徳留・坂井・黒木)		・2回戦→宮崎県1-2山口県	2回戦敗退
卓球	成年男子	団体	宮崎県選抜(内村・鎌田・橋渡・上岡)		・2回戦→宮崎県2-3神奈川県	2回戦敗退
	成年女子		宮崎県選抜(向山前・向山歩・深野)		・予選リーグ→宮崎県1-3北海道 宮崎県1-3茨城県 宮崎県1-3静岡県 宮崎県1-3長野県	予選リーグ敗退
	少年男子		宮崎県選抜(内村・熊本・龐)		・予選リーグ→宮崎県3-0岡山県 宮崎県3-1大阪府 宮崎県3-0神奈川県 ・準決勝→宮崎県3-0石川県・決勝→宮崎県0-3愛知県	第2位
軟式野球	成年男子	団体	宮崎県選抜		・1回戦→宮崎県2-1徳島県・2回戦→宮崎県1-3岩手県	2回戦敗退
相撲	成年男子	団体	宮崎県選抜(中山・堀・別府)		・予選1回戦→宮崎県0-3長崎県・予選2回戦→宮崎県1-2徳島県 ・予選3回戦→宮崎県0-3高知県	予選敗退
	少年男子		宮崎県選抜(丸山・松本・坂本・田岡・甲斐)		・予選1回戦→宮崎県2-3山梨県・予選2回戦→宮崎県0-5秋田県 ・予選3回戦→宮崎県4-1奈良県	
馬術	成年男子	標準障害飛越競技	松田 靖久	都城農業高等学校(実教)	・決勝→1分33秒78 減点14(20位)	第20位
		六段障害飛越競技	福永 拓也	綾馬事公苑	・決勝→飛越回数2 減点4(10位)	第10位
		トップスコア競技	中山 敏	JRA宮崎育成牧場	・決勝→失権	失権
		スピードアンドハンディネス競技 ダービー競技	河田 諒		・決勝→失権	失権
	少年	国内総合馬術競技	増野 歩哉	宮崎工業高等学校	・1日目→馬場馬術 57.3(13位)・2日目→障害飛越5 ・最終成績→62.3(11位)	第11位
		トップスコア競技 ダービー競技 標準障害飛越競技	瀨之口小夏	宮崎大宮高等学校	・決勝→570(19位) ・決勝→2分6秒34 減点9(13位) ・決勝→1分8秒77 減点0(4位)	第19位 第13位 第4位
フェンシング	成年男子	フルール団体 サーブル団体	宮崎県選抜(曾我部・永田・高橋)		・1回戦1試合目→宮崎県0-3青森県・1回戦2試合目→宮崎県1-2兵庫県 ・1回戦1試合目→宮崎県1-2香川県・1回戦2試合目→宮崎県1-2滋賀県	1回戦敗退
柔道	成年男子	団体	宮崎県選抜(森田・大畑・垣田・百瀬・土屋)		・2回戦→宮崎県1-2千葉県	2回戦敗退
	少年男子		宮崎県選抜(加藤・増田・吉野・佐藤・羽田野)		・2回戦→宮崎県0-3埼玉県	2回戦敗退
バドミントン	成年男子	団体	宮崎県選抜(渡邊・緒方・春成)		・1回戦→宮崎県2-0京都府・2回戦→宮崎県2-1愛知県 ・準々決勝→宮崎県0-2熊本県	第5位タイ
	少年女子		宮崎県選抜(肥田木・外山・本部)		・2回戦→宮崎県1-2群馬県	2回戦敗退
弓道	成年男子	団体(遠的)	宮崎県選抜(矢野・後藤・田中)		・予選→134点(9位)	予選敗退
		団体(近的)	宮崎県選抜(妹尾・市来・野中)		・予選→18中(16位)	予選敗退
	成年女子	団体(遠的)	宮崎県選抜(妹尾・市来・野中)		・予選→89点(11位)	予選敗退
		団体(近的)	宮崎県選抜(郡・山本・緒方)		・予選→13中(21位)	予選敗退
少年男子	団体(遠的)	宮崎県選抜(郡・山本・緒方)		・予選→117点(11位)	予選敗退	
	団体(近的)	宮崎県選抜(郡・山本・緒方)		・予選→18中(9位)	予選敗退	
ライフル射撃	成年男子	50m3×40M	持永 洋壮	いちご・宮交シティ	・予選→1143(3位)・決勝→436.5(3位)	第3位
		50mP60M	川崎 清次	宮崎県スポーツ施設協会	・予選→592.6(27位)	予選敗退
		50mK20M	松本 靖世	いちご・宮交シティ	・決勝→175(14位)	第14位
	50m3×20W	宮下 育実	・予選→548(5位)・決勝→429.9(3位)		第3位	
	50mP60W	西村 彩希	宮崎日本大学高等学校		・決勝→612.6(6位)	第6位
	10mS40W	甲斐 和典	宮崎県警察		・予選→387.6(41位)	予選敗退
	少年女子	10mP40W	甲斐 和典	宮崎県警察	・決勝→404.9(38位)	第38位
10mS40JW		甲斐 和典	宮崎県警察	・予選→382.0(27位)	予選敗退	
成年男子	CP60M CP30M	甲斐 和典	宮崎県警察	・精密射撃→281(17位)・速射→269 ・合計→550(35位) ・決勝→269(41位)	第35位 第41位	
剣道	成年男子	団体	宮崎県選抜(下窪・鈴木・山下・谷川・長友)		・2回戦→宮崎県4-1奈良県・3回戦→宮崎県2-3愛知県	3回戦敗退
	成年女子		宮崎県選抜(中武・興相・増田)		・1回戦→宮崎県2-1東京都・2回戦→宮崎県1-2岩手県	第5位タイ
	少年男子		宮崎県選抜(多田・清家・野中・高橋・山下)		・1回戦→宮崎県3-2岐阜県・2回戦→宮崎県1-3岩手県	第5位タイ
ラグビーフットボール	少年男子	団体	宮崎県選抜		・1回戦→宮崎県19-26栃木県	1回戦敗退
山岳	成年男子	ボルダリング競技	藤井 茂久	藤井農園	・予選→45位	予選敗退
		リード競技	竹村 逸平	藤崎建装	・予選→41位	
カヌー	成年女子	スラロームカヤックシングル25ゲート	後藤 由美	地域医療支援病院 江南病院	・決勝→206.22(14位)	第14位
		スラロームカヤックシングル15ゲート	有馬 瑞樹	野崎東病院	・決勝→135.51(11位)	第11位
	成年男子	ワイルドウォーター1500m	有馬 瑞樹	野崎東病院	・決勝→4分45秒41(16位)	第16位
		ワイルドウォーター500m	松田 裕介	鹿屋体育大学	・決勝→58秒57(19位)	第19位
	少年男子	カナディアンシングル500m	横山 瑞紀	宮崎商業高等学校	・予選1組→2分30秒580(2位)・準決勝1組→2分0秒050(2位) ・決勝→2分1秒933(8位)	第8位
		カナディアンペア500m	石川 義活 溝口 昂平	宮崎大宮高等学校	・予選2組→2分14秒956(1位)・決勝→2分5秒562(2位)	第2位
		カヤックペア500m	黒木 亮 岡原 直輝	宮崎商業高等学校	・予選1組→2分18秒750(6位) ・準決勝→2分4秒445(4位)	準決勝敗退
少年女子	カヤックシングル500m	谷脇 知那	宮崎大宮高等学校	・予選1組→1分57秒430(2位)・決勝→1分48秒214(4位)	第4位	
少年女子	カヤックシングル500m	谷脇 知那	宮崎大宮高等学校	・予選2組→2分29秒256(2位)・準決勝2組→2分19秒665(4位)	準決勝敗退	

第71回 国民体育大会
『2016 希望郷いわて国体』

宮崎県選手団競技成績一覧④

競技	種別	種目	氏名	所属	結果・記録	結果
カヌー	少年女子	カヤックペア 500m	粕木 優里 御手洗花穂	宮崎商業高等学校	・予選1組→2分20秒079(1位) ・決勝→2分2秒809(3位)	第3位
		カヤックフォア 500m	宮崎県選抜(佐々木・津曲・藤崎・松井)		・予選1組→2分7秒943(5位)・準決勝→1分55秒568(1位) ・決勝→1分57秒018(7位)	第7位
	成年男子	カナディアン シングル 200m	松田 裕介	鹿屋体育大学	・予選3組→47秒043(4位)・準決勝1組→44秒138(3位) ・決勝→46秒249(9位)	第9位
		カナディアンペア 200m	横山 瑞紀	宮崎商業高等学校	・予選1組→52秒983(3位)・準決勝1組→49秒866(3位) ・決勝→49秒506(5位)	第5位
	少年男子	カナディアンペア 200m	石川 義活 溝口 昂平	宮崎大宮高等学校	・予選2組→48秒389(2位)・決勝→47秒400(6位)	第6位
		カヤックペア 200m	黒木 亮 岡原 直輝	宮崎商業高等学校	・予選1組→44秒224(2位) ・決勝→39秒765(2位)	第2位
	少年女子	カヤックシングル 200m	谷脇 知那	宮崎大宮高等学校	・予選3組→57秒128(3位)・準決勝1組→54秒166(2位) ・決勝→55秒966(5位)	第5位
		カヤックペア 200m	粕木 優里 御手洗花穂	宮崎商業高等学校	・予選1組→52秒947(2位) ・決勝→52秒052(5位)	第5位
カヤックフォア200m		宮崎県選抜(佐々木・津曲・藤崎・松井)		・予選1組→49秒971(3位)・決勝→47秒037(6位)	第6位	
空手道	成少女	団体	宮崎県選抜(中島・廣瀬)		・2回戦→宮崎県3-0神奈川県	2回戦敗退
	成年男子	組手個人 軽量級	松本 裕也	関西大学	・2回戦→松本(宮崎)【判定負】山崎(兵庫)	2回戦敗退
		組手個人 中量級	西村 拳	近畿大学	・1回戦→西村(宮崎)1-0水村(東京)・2回戦→西村(宮崎)3-0保月(兵庫) ・3回戦→西村(宮崎)0-8牛島(熊本)	3回戦敗退
		組手個人 重量級	平野 寿来	宮崎産業経済大学	・2回戦→平野(宮崎)0-4釜口(京都)	2回戦敗退
	成年女子	組手個人	廣瀬 朱夏	近畿大学	・2回戦→廣瀬(宮崎)3-0鈴木(福島)・3回戦→廣瀬(宮崎)【判定負】五明(岐阜)	3回戦敗退
			中島 郷	宮崎第一高等学校	・2回戦→中島(宮崎)1-3石原(山梨)	2回戦敗退
	少年男子	組手個人	八頭司 明		・1回戦→八頭司(宮崎)5-3佐藤(秋田)・2回戦→八頭司(宮崎)4-0山下(三重)・3回戦→八頭司(宮崎)5-0吉岡(埼玉)・4回戦→八頭司(宮崎)1-0石合(神奈川)・準決勝→八頭司(宮崎)【判定勝】相内(千葉)・決勝→八頭司(宮崎)1-0角(静岡)	第1位
少年女子	形個人	宜保ありさ	・2回戦→宜保(宮崎)5-0岩佐(鳥取)・3回戦→宜保(宮崎)2-3藪本(石川)	第5位タイ		
クレー 射撃	成年男子	トラップ団体	宮崎県選抜(酒井・日高・森)		・第1ラウンド→32(47位)・第2ラウンド→67(47位) ・第3ラウンド→104(47位)・最終成績→140(47位)	第47位
		トラップ個人	酒井 但 日高 誠紀 森 英典	宮崎県クレー射撃協会	・最終成績→47(139位) ・最終成績→43(140位) ・最終成績→50(137位)	
		スキート団体	宮崎県選抜(水久保・赤崎・上村)		・第1ラウンド→54(27位)・第2ラウンド→112(26位) ・第3ラウンド→160(30位)・最終成績→211(30位)	第30位
		スキート個人	水久保春好 赤崎 育男 上村 勉	宮崎県クレー射撃協会	・最終成績→69(85位) ・最終成績→78(58位) ・最終成績→54(93位)	
	なぎなた	成年女子	演技競技団体 試合競技団体	宮崎県選抜(黒木・澄川・浦山)		・1回戦→宮崎県0-5茨城県 ・1回戦→宮崎県0-3神奈川県
少年女子	演技競技団体	宮崎県選抜(黒木・石神)		・1回戦→宮崎県0-5鹿児島県		
ボウ リン	成年男子	団体(2人チーム)	宮崎県選抜A(晋・園田)		・予選→2410(9位)	予選敗退
			宮崎県選抜B(大山・加治佐)		・予選→2432(8位)・決勝→3596(8位)	
		団体(4人チーム)	宮崎県選抜(加治佐・大山・園田・晋)		・予選→2397(11位)	予選敗退
		個人	加治佐 崇	宮崎交通株式会社	・予選→1153(64位)	予選敗退
			大山 武博	大山解体	・予選→1159(60位)	予選敗退
	園田 一誠		医療法人参篤会高原病院	・予選→1117(83位)	予選敗退	
	晋 義見	株式会社スマイル	・予選→1056(105位)	予選敗退		
少年男子	団体	宮崎県選抜(小山田・北里)		・予選→2410(3位)・決勝→3493(7位)	第7位	
	個人	小山田和矢 北里 春希	宮崎北高等学校 宮崎大宮高等学校	・予選→1071(34位) ・予選→937(47位)	予選敗退 予選敗退	
ゴルフ	成年男子	団体	宮崎県選抜(中山・馬渡・尾崎)		・1日目→227(15位)・2日目→221・合計→448(17位)	第17位
		個人	中山 龍馬	日本経済大学	・最終成績→154(80位)※得点対象外	
		馬渡 清也	専修大学	・最終成績→152(65位)※得点対象外		
	尾崎 秀平	日本大学	・最終成績→142(8位)※得点対象外			
	女子	団体	宮崎県選抜(中西・岩切・三浦)		・1日目→231(16位)・2日目→231・合計→462(13位)	第13位
		個人	中西絵里奈	宮崎日本大学高等学校	・最終成績→156(59位)※得点対象外	
		岩切 夏乃	九州保健福祉大学	・最終成績→159(79位)※得点対象外		
	三浦 桃香	日章学園高等学校	・最終成績→147(8位)※得点対象外			
	少年男子	団体	宮崎県選抜(中村・井戸川・吉行)		・1日目→228(13位)・2日目→227・合計→455(7位タイ)	第7位タイ
		個人	中村 志皿	日章学園高等学校	・最終成績→154(44位)※得点対象外	
井戸川純平 吉行 直人		宮崎日本大学高等学校	・最終成績→146(6位)※得点対象外 ・最終成績→155(49位)※得点対象外			
トライ アスロン	成年男子	ショートタイプ (S1.5km・B40km・ R10km)	松元 潤也	西諸広域行政事務 組合消防本部	・Swim→25分8秒・Bike→1時間8分28秒・Run→39分52秒 ・合計→2時間13分28秒(82位)	第82位
			石川 幸次	宮崎県トライアスロン 連合	・Swim→32分9秒・Bike→1時間10分23秒・Run→40分41秒 ・合計→2時間23分13秒(88位)	第88位
	成年女子	小野 英子	宮崎県トライアスロン 連合	・Swim→30分21秒・Bike→1時間16分23秒・Run→51分56秒 ・合計→2時間38分40秒(82位)	第82位	

平成28年度 みやざき県民総合スポーツ祭

本年度も、平成28年6月4日(土) KIRISHIMA 木の花ドームにて、みやざき県民総合スポーツ祭の総合開会式が開催されました。翌日の5日(日)をメイン開催日として、宮崎市を中心に9市5町74会場で実施されました。

各市町村の入場行進も年々盛り上がりを見せており、20ものご当地のゆるキャラが大集合し宮崎日大チアリーディング部とダンスを披露し賑やかな開会式になりました。開会式の午後には、SALKO(サルコー)ウォーキング大会を実施しました。競技は、県民体育大会の部48競技とスポーツ・レクリエーションの部12競技の計60競技の大会となり、約1万7千人が参加しました。

平成28年度 みやざき県民総合スポーツ祭大会結果一覧



えびの市：川田伸一氏
(ソフトボール競技)の選手宣誓



宮崎市内のスポーツ少年団による
県旗の入場



各市町村選手団

1 競技団体(48)

団体名		部門	1位	2位	3位(4位)		
1	陸上	男	宮崎市	延岡市	日南市		
		女	宮崎市	日南市	東諸県郡		
2	水(クラス別に実施)	男	※	※	※	※	
		女	※	※	※	※	
3	バレーボール	男	1部	串間市	日南市(日南VC)	宮崎市(大淀クラブ)	東諸県郡
			2部	串間市	日南市(日南球友)	都城・北諸(都城クラブ)	都城・北諸(山之口)
		女	1部	宮崎市(ウエンディース)	日南市(nichinan)	東諸県郡	東臼杵郡(MISATO)
			2部	宮崎市(たんぽぽ)	東諸県郡	西諸県郡	都城・北諸(スイング)
4	軟式野球	一般の部	東臼杵郡(田中病院)	宮崎市(ボンバース)	宮崎市(九州電力)	宮崎市(エーコープみやざき)	
		成年の部	延岡市(IN40's)	都城市(都城太陽フレイア)	児湯郡(新富パッティング)	宮崎市(GTクラブ)	
5	ソフトテニス	男	A	宮崎市A	都城地区A	都城地区B	児湯郡A
			B	宮崎市B	西都市	宮崎市A	宮崎市C
		女	A	都城地区	宮崎市	延岡市	
			B	都城地区A	児湯郡A	宮崎市A	西都市
6	卓球	男	成年	都城市A	宮崎市A	延岡市A	都城市B
			壮年	宮崎市A	宮崎市B	日南市A	日向市A
		女	成年	都城市	宮崎市C	宮崎市A	延岡市
			壮年	都城市A	宮崎市A	児湯郡A	都城市B
		男女	ラジネール	えびの市A	宮崎市B	宮崎市A	延岡市A
7	弓道	男	宮崎市◎	延岡市	宮崎市◎		
		女	宮崎市◎	西都市	日南市◎		
8	ラグビー	一部A	児湯郡	宮崎市	日向市	延岡市	
		二部	宮崎市	児湯郡			
9	サッカー	男	一般	日南市	宮崎市	西臼杵郡	延岡市県I選抜
			壮年A/バート	児湯郡川南町	延岡市	西都市	
		女	壮年B/バート	宮崎市	都城市	串間市	
			一般	宮崎市B	日向市	都城市	宮崎市A
10	バスケットボール	男	一般	宮崎市	延岡市	西都市	都城市
			シニアの部	西都市	宮崎市	都城市	
		女	車椅子の部	延岡市	都城市	宮崎市	
			男子団体	都城市A	延岡市	宮崎市A	宮崎市B
11	柔道	男	宮崎市	延岡市	都城市	日向市	
		女	延岡市	西臼杵郡	宮崎市	都城市	
12	剣道	一般1部	西臼杵郡	都城市	延岡市		
		青年の部	宮崎市	西臼杵郡			
		一般2部	西都市				

14	体 操	男	体操一部	都城市	宮崎市	延岡市		
		女	体操一部	宮崎市				
		男	新体操一部	宮崎市				
		女	新体操一部					
15	馬 術	総 合	東諸県郡	宮崎市	都城市			
16	ク レ ー 射 撃	総 合	宮崎市A	都城市	日南市			
17	山岳(縦走競技)	男子		日南市①	都城市①	宮崎市①		
		女子		日南市	都城市	宮崎市		
	山岳(踏査競技)	男	1部		日南市①	日南市③	宮崎市①	
			2部(さわやか)		日南市	東臼杵郡	都城市	
		女	1部		日南市	宮崎市		
			2部(さわやか)		日南市①	都城市②	都城市①	

1 競技団体(48)

団体名		部門	1位	2位	3位(4位)		
18	ソ フ ト ボ ー ル	男	1部	1位 宮崎市 (瓜生野ソフトOB)	1位 都城市	東臼杵郡	延岡市
			2部				
		女	1部	日向市	都城市	延岡市	宮崎市 (宮崎大学)
			さわやか	宮崎市 (宮崎Wins)	児湯郡	日南市	宮崎市 (宮崎レディース)
19	バ ド ミ ン ト ン	一般男子	宮崎市A	西都市	宮崎市D	日向市	
		一般女子	宮崎市A	延岡市A	宮崎市B	日向市	
20	テ ニ ス	男	延岡市A	宮崎市A	日南市	宮崎市B	
		女	都城市A	宮崎市B	宮崎市A	延岡市A	
		さわやか	宮崎市A	都城市A	宮崎市C		
21	ウ ェ イ ト リ フ テ ィ ン グ	団体の部	宮崎市	高原町			
22	ハ ン ド ボ ー ル	成年男子	宮崎市A	延岡市B	都城市	延岡市A	
		成年女子	延岡市	小林市	児湯郡	宮崎市A	
23	自 転 車	総 合	宮崎市	日南市	延岡市		
24	レスリング	男子1部	宮崎市	日南市	都城市		
		男子2部	宮崎市	日南市	都城市		
		総 合	宮崎市	日南市	都城市		
25	ラ イ フ ル 射 撃	総 合					
26	アマチュアホ`クシング`	総 合	宮崎市	都城市			
27	銃 剣 道	市郡の部	都城市	児湯郡			
		自衛隊の部	第43連重(A)	第43連4中	第43連2中(A)		
28	フ ェ ン シ ン グ		※	※	※	※	
29	ポ ー ト		※	※	※	※	
30	ア ー チェリ ー	男子 総 合	延岡市A	宮崎市A	延岡市C	延岡市B	
		女子 総 合	延岡市A	宮崎市A			
31	セ ー リ ン グ	一般男子	※	※	※	※	
		一般女子	※	※	※	※	
32	ホ ッ ケ ー	一般男子	延岡市 (延岡クラブ)	東臼杵郡 (門川)	宮崎市 (宮崎クラブ)	日向市 (日向クラブ)	
		一般女子	児湯郡 (児湯クラブ2)	延岡市 (児湯クラブ1)	延岡市 (のべおかクラブ)		
33	空手道	男子組手	宮崎市A	児湯郡A	西都市A		
		男子総合	児湯郡	宮崎市	西都市		
		女子総合	児湯郡	宮崎市			
34	ス キ ー	総 合					
35	な ぎ な た		※	※	※	※	
36	カ ヌ ー		※	※	※	※	
37	ポ ウ リ ン グ	総 合	都城市	宮崎市	日南市	北諸県郡	
38	少 林 寺 拳 法		※	※	※	※	
39	グラウンド・ゴルフ		※	※	※	※	
40	ゲ ー ト ボ ー ル	総 合	小林市 (エイユウ)	宮崎市 (ひまわり)	宮崎市 (高岡A)		
		アベック1	宮崎市 (FIT)	宮崎市 (キャメルロケット)			
		アベック2	都城市 (クリア)	宮崎市 (秋桜)			
41	ソフトバレーボール	アベック3	小林市 (連山霧島 赤組)	西都市 (ミックス)			
42	ターケット・ハ`ート`ゴルフ	総 合	えびの市A	延岡市A	日南市A	えびの市B	
43	綱 引	混 合	日南市 (アツリ日南)	日向市 (チームたんばば)	日南市 (日南引`つ張られ隊)		



宮崎日大高等学校チアリーディング部とゆるキャラのダンス



入場行進の様子



表彰式の様子

1 競技団体(48)

団体名	部門	1位	2位	3位(4位)	
44 バウンドテニス	総合	三股町 (三股チャレンジBT)	宮崎市 (東大宮BT)	宮崎市 (東大宮SCB)	宮崎市 (東大宮SCA)
45 四半的弓道	総合	宮崎市 (佐土原A)	日向市 (堀一方)	日南市 (日南1)	
46 ミニバレーボール	男子1部 (50歳代)	小林市 (一期一会)	宮崎市 (ウインディ)	延岡市 (レオクラブ)	
	男子2部 (60歳代)	延岡市 (ナイスミドル)	西都市 (高台クラブ)	高千穂町 (武蔵)	
	女子1部 (50歳代)	宮崎市 (カンナ)	日南市 (フレンド)	小林市 (クリアー)	
	女子2部 (60歳代)	小林市 (ロザリオ)	日南市 (たんぼぼ)	小林市 (野うさぎ)	
47 ミニテニス	総合	アマメ (都城市)	マンゴー (宮崎市)	サザンカ (都城市)	星 (小林市)
48 ベタンク	総合	小林市 (銀杏C)	都城市 (都城1)	宮崎市 (みやざきC)	都城市 (都城3)
	交流	小林市 (みやま)	小林市 (三ノ宮)		

2 交流競技等(11)

団体名	部門	1位	2位	3位	4位
1 武術太極拳	団体①	延岡市 (はまゆう延岡)	日向市 (ローズマリー)	西都市 (この花西都)	宮崎市 (愛さんさん)
	団体②	宮崎市 (蘭華会)	日向市 (七つ星)	日向市 (北斗星)	
2 ユニカール	ジュニアの部	西都市 (サイトここに)	新富町 (新富セカンド)	川南町 (川南なかよし)	
	一般の部	高鍋町 (明倫)	高鍋町 (舞鶴)	高鍋町 (ファイト)	川南町 (トロン)
3 エアロビック	エアロビックの部	三股町 (エアロビックダンス部)	三股町 (FG SPLASH)	新富町 (セミコン キッドピクス)	
	エンジョイの部	1位 新富町 (セミコンエアロダンシング)	1位 宮崎市 (WAVE宮崎北高)	1位 西都市 (西都POP Mエイサー)	1位 宮崎市 (日章学園ヒップホップダンス部BOOGIE TPIBE)
4 トランポリン	ジャンプ団体	都城市 (コミュニティ・S)	小林市 (らびっと)	宮崎市 (宮崎市)	
	シャトル団体	都城市 (コミュニティ・S)	小林市 (らびっと)	小林市 (野尻クラブ)	
	団体総合	都城市 (コミュニティ・S)	小林市 (らびっと)	3位 宮崎市 (宮崎市)	3位 小林市 (野尻クラブ)
5 フライングディスク		※	※	※	※
6 3B体操					
7 スポーツチャンバラ		※	※	※	※
8 卓球バレー	チーム	花山手卓球バレー (宮崎市)	小林隆がい者 スポーツ振興会 (小林市)	花山手卓球バレーB (宮崎市)	
9 サーフイン	チーム	宮崎市A	日向市A	宮崎市B	日南市
10 スポーツ吹き矢	チーム	宮崎中央バーム (宮崎市)	宮崎中央フェニックス (宮崎市)	佐土原中央 (宮崎市)	佐土原あざみ (宮崎市)
11 パークゴルフ		※	※	※	※

※個人種目の成績・結果については、本会ホームページに掲載しておりますのでご覧下さい。

本会ホームページ URL <http://www.miyazakiken-taikyo.jp/>

→ 「地域スポーツ振興」 → 「みやざき県民総合スポーツ祭結果」

第7回 宮崎チャレンジマッチ 「ボクシング競技大会」

第7回宮崎チャレンジマッチ「ボクシング競技大会」を、宮崎日日新聞社・MRT 宮崎放送・UMK テレビ宮崎・県教育委員会・県体育協会の主催で、6月25日から2日間にわたり、宮崎市総合体育館で開催いたしました。

この事業は、全国でもトップの競技力を誇る高校の強豪チームを招待し、本県の有望な高校生チームとの招待試合や県内小中学生を対象に交流イベント等を実施することにより、スポーツに対する関心を高め、同時に競技力向上を目指そうとするものです。

Program

■大会前日 6/25 (土)

- ◎【開会式】 13:00～13:20 宮崎市総合体育館
- ◎【ボクシング教室】 13:30～15:30 宮崎市総合体育館 (小中学生)

講師には、九州ボクシング連盟強化委員長 木庭浩一氏、開志学園高校監督 仁多見史隆氏、模範は選手にいただきました。小中学生には貴重な体験になりました。

■大会当日 6/26 (日)

- ◎【開始式セレモニー】 9:30～9:50 会場：宮崎市総合体育館
- ◎【チャレンジマッチ】 10:00～13:00 会場：宮崎市総合体育館
- ◎【表彰式及び閉会式】 13:00～13:30 会場：宮崎市総合体育館



【開会式の様子】



【交流記念品贈呈の様子】



今回の大会は、岐阜県の「岐阜工業高等学校」「中京高等学校」、新潟県の「開志学園高等学校」、大阪府の「興国高等学校」、広島県の「広陵高等学校」「崇徳高等学校」、千葉県の「習志野高等学校」、熊本県の「九州学院高等学校」「熊本工業高等学校」の9校を招待して行いました。全国選抜チームは、アジアユース金メダルの千葉県習志野高校、堤駿斗君をはじめ、全日本ランキングチャンピオンや全国上位入賞の強豪校が来県しました。

対する本県は、日章学園高校 1 校で構成するチームではありますが、全国総体、全国選抜大会、国民体育大会の 3 冠を達成している齋藤麗王君、アジアユース金メダルの中垣龍汰朗君、全国選抜大会準優勝の湯場海樹君、女子では中学 1 年生から連勝し無敗を守っている奈須海咲さんを含むメンバーで挑みました。結果的には、6 勝 9 敗で敗れましたが、レベルの高い試合が展開され、今後につながる内容となりました。本県の選手・指導者及び県ボクシング連盟の役員の方々にとって、このイベントは貴重な経験となったことと思います。今後の更なる活躍が期待できます。

■開始式セレモニー



【 本県チーム 】



【 全国選抜チーム 】



■チャレンジマッチ



■表彰式及び閉会式



スポーツ少年団便り

平成28年度 第52回 宮崎県スポーツ少年団中央大会

第52回宮崎県スポーツ少年団中央大会は、7月3日(日) KIRISHIMA ツワブキ武道館にて総合開会式を開催しました。競技ではKIRISHIMA ヤマザクラ宮崎県総合運動公園をメイン会場に2市2町(宮崎市・延岡市・綾町・新富町)で7月2日～30日の期間、参加3,542名の団員が18競技で熱戦を繰り広げました。



代表団員による日本スポーツ少年団綱領唱和



総合開会式参加団員



サッカー競技 (KIRISHIMA ヤマザクラ宮崎県総合運動公園)



なぎなた競技 (佐土原地区農村環境改善センター)



バレーボール競技男子 (綾てるはドーム)



ミニバスケットボール競技 (綾てるはドーム)

第52回宮崎県スポーツ少年団中央大会 競技結果 団体

競技名	種別	第1位	第2位	第3位		
バレーボール	男子	串間 JVC (日南・串間)	新佐 バレーボールクラブ (西都・児湯)	青雲パンサーズ (西臼杵郡)	山之口 ゴールデンモンキーズ (都城市・北諸県郡)	
	女子Aブロック	西池クラブ女子 (宮崎市)	丸野少女クラブ (都城市・北諸県郡)	はまゆう少女バレー (都城市・北諸県郡)	旭ウイングス (延岡市)	
	女子Bブロック	高城少女バレー (都城市・北諸県郡)	吾田東小 バレーボールクラブ (日南・串間)	宮崎南ジュニア バレーボールクラブ (宮崎市)	森永少女バレー (東諸県郡)	
ソフトボール	Aパート	田野スカイボーイ (宮崎市)	広瀬ソフト (宮崎市)	広瀬西ソフト (宮崎市)		
	Bパート	宮崎大塚フレンズ (宮崎市)	宮崎本郷 STAR, S (宮崎市)	東大宮ヤンキース (宮崎市)	木脇ソフト (東諸県郡)	
剣道	男子	小学生	北辰館 (宮崎市)	赤江白虎剣道会 (宮崎市)	明和剣友クラブ (都城市・北諸県郡)	佐藤道場 (延岡市)
		中学生	高岡練士館剣道 (宮崎市)	明和剣友クラブ (都城市・北諸県郡)	五ヶ瀬剣心会 (西臼杵郡)	佐藤道場 (延岡市)
	女子	小学生	宮崎神武館第一 (宮崎市)	宮崎神武館第二 (宮崎市)	陵武館剣道 (宮崎市)	都城西剣友クラブ (都城市・北諸県郡)
		中学生	赤江白虎剣道会 (宮崎市)	稲門館道場 (延岡市)	上新田少年剣道 (西都・児湯)	
柔道	小学4年生の部	日向武道館柔道 (日向市・東臼杵郡)	都城武道館柔道部 (都城市・北諸県郡)	新富柔道 (西都・児湯)	高岡天桜館 (宮崎市)	
	小学5年生の部	高鍋警察署 少年柔道クラブ (西都・児湯)	西都警察署 少年柔道クラブ (西都・児湯)	都農柔道 (西都・児湯)	新富柔道 (西都・児湯)	
	小学6年生の部	都城武道館柔道部 (都城市・北諸県郡)	高岡天桜館高岡警察 署少年柔道 (宮崎市)	えびの警察署 少年柔道クラブ (西諸県)	宮崎地区柔道教室 (宮崎市)	
	中学生男子の部	西都警察署 少年柔道クラブ (西都・児湯)	都城武道館 (都城市・北諸県郡)	舞鶴柔道 (西都・児湯)	宮崎地区柔道教室 (宮崎市)	
	中学生女子の部	都城武道館柔道部 (都城市・北諸県郡)	えびの警察署 少年柔道クラブ (西諸県)	西都警察署 少年柔道クラブ (西都・児湯)	日向武道館柔道 (日向市・東臼杵郡)	

第52回宮崎県スポーツ少年団中央大会 競技結果 団体

バドミントン	小学生 Aブロック	国富スマッシュA (東諸県郡)	三股 バードウィングA (都城市・北諸県郡)	小松台 ホワイトジュニアA (宮崎市)	しおみキャッツA (宮崎市)		
	小学生 Bブロック	宮崎バドキッズ (宮崎市)	大淀スポーツ (宮崎市)	しおみキャッツB (宮崎市)	妻南小 バドミントンA (西都・児湯)		
	中学生 女子の部	大淀スポーツ (宮崎市)	レッドバード 佐土原 (宮崎市)	中郷JBC (都城市・北諸県郡)			
	中学生 男子の部	レッドバード佐土原 (宮崎市)					
サッカー	Aパート	西階FC (延岡市)	通山サッカー (西都・児湯)	本庄サッカー (東諸県郡)	ヴィラル木花 サッカークラブ (宮崎市)		
	Bパート	旭FC (宮崎市)	FC志和池 (都城市・北諸県郡)	宮崎東サッカー (宮崎市)	桜FC (日南・串間)		
ミニバスケットボール	男子	Aパート	WEST明和 (都城市・北諸県郡)	日知屋 ミニバスケットボール (日向市・東臼杵郡)	都於郡ミニバス (西都・児湯)		
		Bパート	宮崎南 グリーンミラクルズ (宮崎市)	綾ミニバスケットボール (東諸県郡)	飢肥 ミニバスケットボール (日南・串間)		
		Cパート	大王谷ユニティ (日向市・東臼杵郡)	高原アーレーズ (西諸県)	小林 ミニバスケットボール (西諸県)	油津 ブルーオーシャンズ (日南・串間)	
	女子	Aパート	WEST明和 (都城市・北諸県郡)	飢肥 ミニバスケットボール (日南・串間)	川南 ミニバスケット女子 (西都・児湯)	都於郡ミニバス (西都・児湯)	
		Bパート	大塚グリーズ (宮崎市)	小林 ミニバスケットボール (西諸県)	財光寺南 ミニバスケットボール (日向市・東臼杵郡)	日知屋 ミニバスケットボール (日向市・東臼杵郡)	
ハンドボール	男子の部	三松ハンドボール (西諸県)	日知屋東小 ハンドボール (日向市・東臼杵郡)	延岡東 ハンドボール (延岡市)			
	女子の部	宮崎ハンドボール (宮崎市)	延岡東 ハンドボール (延岡市)	小林ハンド・三松ハンド (西諸県)			
	ジュニアの部	日知屋東小 ハンドボール (日向市・東臼杵郡)	延岡東 ハンドボール (延岡市)	小林ハンド・三松ハンド (西諸県)			
軟式野球	雨天の為 交流試合	南小友愛スポーツ (都城市・北諸県郡)	2—3	生目台メッツ 少年野球 (宮崎市)	中央少年野球クラブ (日南・串間)	3—0	穆佐イーグルス (宮崎市)
		綾ヤンキース (東諸県)	2—4	北方少年野球 クラブ (延岡市)	明道スポーツ (都城市・北諸県郡)	3—4	高鍋西区野球 (西都・児湯)
		樺山スポーツ (都城市・北諸県郡)	0—8	美々津マリナーズ (日向市・東臼杵郡)	西小林野球スポーツ (西諸県)	8—1	高岡ホークス (宮崎市)

第52回宮崎県スポーツ少年団中央大会 競技結果 個人

競技名	種別	第1位	第2位	第3位	
少林寺拳法	組演武の部 (規定)	見習い～7級	丸山隆平・楳原稚乃 (都城北諸選抜)	高橋心音・野津手桃花 (高鍋)	磯野誠也・興枙光咲 (延岡恒富)
		6級	田畑結大・多田伊侶波 (都城北諸選抜)	久保心春・根占陽菜 (都城北諸選抜)	立元陽菜・岩元有澄 (都城北諸選抜)
		5級	小玉仁寿・土屋有叶 (都城北諸選抜)	興枙雅音・長野理空 (延岡恒富)	小玉侍勇・榎木龍朗 (都城北諸選抜)
		4級	朝倉 仁・吉永隼翔 (都城北諸選抜)	渡辺航規・坂井和帆 (高鍋)	小玉凌士・土屋冴人 (都城北諸選抜)
		3級	小玉智穂・田中 雫 (都城北諸選抜)	木佐貫なつみ・吉国咲音 (都城北諸選抜)	白岩礼椰・板東大士朗 (日南)
		2級	本田佳穂・有吉彩絵 (都城北諸選抜)	小玉玲衣奈・松原琢磨 (都城北諸選抜)	小川雅也・濱田海斗 (宮崎青島)
		1級	後田凌我・伊藤雅輝誉 (都城北諸選抜)	上原和也・多田虎之介 (都城北諸選抜)	黒木詩夕・河野将丸 (日向細島)
	組演武の部 (自由)	小学生有段	小玉 豊・西村瑛翔 (都城北諸選抜)	海老原翔太・松野衣織 (都城北諸選抜)	河内修平・岩切証賢 (延岡恒富)
		中学生男子 段外	椎葉大輝・新田伊秀 (延岡恒富)	川窪美維吾・小城桃穂 (高崎)	児玉 剛・河野善蔵 (日向細島)
		中学生男子 有段	洪田晃輝・武田佑汰 (都城北諸選抜)	川崎空人・折田舜稀 (都城北諸選抜)	黒木颯真・小野友誉 (日向細島)
		中学生女子 有段	川崎春陽・泊 濤亜 (都城北諸選抜)	小玉朋佳・南野陽向 (都城北諸選抜)	谷口稚奈・池田朱理 (日向細島)
	単独演武の部	見習い～4級	鈴木 柊人 (日南)	谷口 智咲 (日向細島)	早川 仁 (高崎)
		3級～1級	堀江 璃奈 (宮崎中部)		
		中学生男子	前田 琉慧 (三股)	多田 一世 (三股)	岩切 吾論 (延岡恒富)
		中学生女子	泊 友綺妃 (三股)	成松 歩乃佳 (都城妻ヶ丘)	中丸 真美 (都城妻ヶ丘)
	団体演武	見習い～4級	木佐貫なつみ 他5名 (都城北諸選抜)	田畑結大 他7名 (都城北諸選抜)	興枙雅音 他5名 (延岡恒富)
		3級～小学生有段	西村瑛翔 他7名 (都城北諸選抜)	本多佳穂 他7名 (都城北諸選抜)	濱田海斗 他5名 (宮崎青島)
		中学生有段	村社光翼 他7名 (都城北諸選抜)	吉本愛梨 他5名 (延岡西階)	
	卓球	男子ダブルス	黒木隆聖・佐藤 遥 (T-ONE)	姫田頌平・大平勇午 (門拓)	豊田敦之・野村優作 (高鍋)
女子ダブルス		黒木愛子・椎葉結名 (大河内元気キッズ)	矢野智佳子・矢野有希子 (高鍋)	重永侑俐歌・前田真央 (高鍋)	
男子シングルス (高学年)		豊田 敦之 (高鍋)	濱砂 佳史 (大河内元気キッズ)	黒木 大遥 (門拓)	
男子シングルス (低学年)		椎葉 尚志 (大河内元気キッズ)	児玉芹滋郎 (門拓)	佐藤 嘉洋 (門拓)	
男子シングルス (中学生)		黒木 隆聖 (T-ONE)	大平 勇午 (門拓)	姫田 頌平 (門拓)	
女子シングルス (高学年)		黒木 愛子 (大河内元気キッズ)	椎葉 結名 (大河内元気キッズ)	重永侑俐歌 (高鍋)	
女子シングルス (低学年)		黒木女礼直 (大河内元気キッズ)	矢野有希子 (高鍋)	芳野 陽菜 (大河内元気キッズ)	
女子シングルス (中学生)		佐藤 遥 (T-ONE)	山下ほのか (門拓)		

第52回宮崎県スポーツ少年団中央大会 競技結果 個人

競技名	種別	第1位	第2位	第3位		
全日本 空手道	男子 型の部	小学1年生	小屋敷哩人 (真幸会)	牧野 遼稀 (新富和道会)	本村 諒真 (真幸会)	土屋 遥人 (夢道場)
		小学2年生	堀之内亮人 (優和会)	北別府虹輝 (真幸会)	牧野 元樹 (松濤塾)	隈江 空翔 (松濤塾)
		小学3年生	岩切 遥 (南空会)	池田 仁太 (南空会)	堀 和希 (至空塾)	新屋 琉斗 (真幸会)
		小学4年生	天野 聖也 (同心館東郷)	森田 陸斗 (宮崎征柔館)	吉谷 彰 (至空塾)	阪口 正仁 (真幸会)
		小学5年生	織田 崇聖 (南空会)	佐藤 裕新 (高千穂松濤館)	山之口獅佑 (真幸会)	渡邊 拳聖 (夢道場)
		小学6年生	黒木 星矢 (緑勝会)	佐藤 悠 (高千穂松濤館)	戸郷 亮太 (心武会三股)	大賀 泰誠 (高千穂松濤館)
		中学生	岡園 陽向 (真幸会)	山本 春 (土濤館)	政岡 大雅 (新富和道会)	岩田 一馬 (順武館)
	女子 型の部	小学1年生	宇戸田愛姫 (土濤館)	岩切 虹 (南空会)	猪股 愛梨 (南空会)	山田 千晴 (宮崎征柔館)
		小学2年生	吉村 葉奈 (緑勝会)	黒木 優菜 (心道会)	堀地 杏樹 (南空会)	井久保玲良 (夢道場)
		小学3年生	堀之内玲奈 (優和館)	織田江梨花 (南空会)	南沢 実生 (紘徳館)	落合 琴乃 (南空会)
		小学4年生	新藤 瞳月 (優和館)	北別府桜彩 (真幸会)	吉村 葉奈 (緑勝会)	長友 玲々 (土濤館)
		小学5年生	岩切 雫 (南空会)	新屋 瑠姫 (真幸会)	長友 麻耶 (南空会)	山下 弥生 (優和館)
		小学6年生	木屋尾春菜 (新富和道会)	濱砂野乃花 (南空会)	渡辺 陽菜 (同心館都農)	岩切 温慈 (U松濤館)
		中学生	山本 南 (土濤館)	木屋尾奈菜美 (新富和道会)	黒木 梨瑚 (優和館)	阪口 吏音 (真幸会)
	男子 組手の部	小学1年生	鶴田 絆 (新富和道会)	土屋 遥人 (夢道場)	牧野 遼稀 (新富和道会)	小屋敷哩人 (真幸会)
		小学2年生	中嶋 大和 (征柔館)	隈江 空翔 (松濤館)	岩切奨之介 (征柔館)	松浦 和寿 (征柔館)
		小学3年生	池田 仁太 (南空会)	岩切 遥 (南空会)	政野 太佑 (紘徳館)	森 陽成 (緑勝会)
		小学4年生	森 咲斗 (緑勝会)	平田 奨英 (緑勝会)	川原 七音 (新富和道会)	土岐 琉斗 (心道会)
		小学5年生	渡邊 拳聖 (夢道場)	織田 崇聖 (南空会)	河野 鉄笙 (緑勝会)	堀地 樹蘭 (南空会)
		小学6年生	政岡 隆雅 (新富和道会)	竹下 光栄 (心武会三股)	鹿島 太樹 (征柔館)	高松 瑞稀 (新富和道会)
		中学1年生	菊池 一世 (南空会)	富永 尚暉 (夢道場)	古城敬史郎 (夢道場)	脇 悠斗 (緑勝会)
		中学2年生	政岡 大雅 (新富和道会)	川原 晴人 (新富和道会)	斉藤 唯人 (夢道場)	高松 堯吹 (新富和道会)
		中学3年生	橋口 怜太 (新富和道会)	小松 晃平 (夢道場)	岩田 一馬 (順武館)	久松 吏希 (心武会三股)
	女子 組手の部	小学1年生	川路 仁幸 (新富和道会)	岩切 紅 (南空会)	神田 紗季 (新富和道会)	藤原 弥生 (新富和道会)
		小学2年生	黒木美衣奈 (緑勝会)	吉村 葉奈 (緑勝会)	井久保玲良 (夢道場)	堀地 杏樹 (南空会)
		小学3年生	小松 優心 (夢道場)	鈴木 心結 (夢道場)	瀬ノ口梨桜 (夢道場)	富永 結美 (夢道場)
		小学4年生	吉村 葉奈 (緑勝会)	金谷 莉果 (順武館)	長友 玲々 (土濤館)	北別府桜彩 (真幸会)
小学5年生		長友 麻耶 (南空会)	岩切 雫 (南空会)	海老原楓果 (南空会)	池田 充希 (南空会)	
小学6年生		木屋尾春菜 (新富和道会)	花車 美空 (新富和道会)	野津手琴美 (優和館)	渡辺 陽菜 (同心館都農)	
中学1年生		橋口妃真莉 (新富和道会)	高須 麗帆 (夢道場)	関屋 音々 (南空会)	南沢 百音 (紘徳館)	
中学2年生		岩本 愛花 (緑勝会)	田村 優衣 (新富和道会)	山本 南 (土濤館)	俵崎 優子 (同心館尾鈴)	
中学3年生		多田 菜央 (新富和道会)	黒木 玲奈 (緑勝会)	吉留はるか (同心館都農)	木屋尾奈菜美 (新富和道会)	

第52回宮崎県スポーツ少年団中央大会 競技結果 個人

競技名	種別	第1位	第2位	第3位		
少林寺流 空手道	型の部	小学1・2年 7級以下	杉元 瑛真 (野尻)	本村 理一 (三股)	瀬戸山大河 (小林)	田島 有彩 (野尻)
		小学1・2年 6級以上	弓場 光輝 (小林)	藤井 綾星 (高城)	清水 聡太 (南横市)	若松 龍輝 (山田)
		小学3・4年 5級以下	瀬戸山稜人 (小林)	黒木 颯大 (草川)	小永田瑠玖 (高城)	徳丸 朔耶 (南横市)
		小学3・4年 4級以上	水永 隆進 (門川)	藤井 逢人 (高城)	燕 悠友 (高城)	若松 美優 (山田)
		小学5・6年 3級以下	古小路華咲 (草川)	瀬戸山海月 (小林)	徳永 優大 (南横市)	享保 寿晃 (三股)
		小学5・6年 2級以上	中村 洋介 (三股)	森山 紗妃 (南横市)	平田 真凜 (野尻)	岩満 隆 (南横市)
		中学生	中尾 優華 (南横市)	古田 蓮央 (門川)	瀬戸 勇貴 (草川)	宮島 碧 (南横市)
	高校生	森重 結貴 (南横市)	和田 一希 (草川)	中尾 優希 (南横市)	江夏 由唯 (三股)	
	組手の部	高校生女子	前田早也香 (高城)	江夏 由唯 (三股)	米澤 晴香 (草川)	
		高校生男子	瀬戸 一輝 (草川)	富満 秀斗 (小林南)	古脇 峻平 (高城)	山村 溪之介 (野尻)
	団体	南横市	草川	高城		
なぎなた	演技競技	小学生	川越 天斗 (ヒム力)	松本 智顕 (清滝)	川越 響 (ヒム力)	
		中学生	安田 詩菜 川越 音羽 (ヒム力)	横山 芽生 湯地 純子 (清滝)	福浦 花七 猿田 七海 (清滝)	
		高校生	三浦 純菜 黒木はな乃 (ヒム力)	石神 潤奈 榎木那奈美 (清滝)	上本 航輝 日高 鈴花 (清滝)	
	試合競技	小学生	松本 智顕 (清滝)	川越 天斗 (ヒム力)	川越 響 (ヒム力)	
		中学生	川越 音羽 (ヒム力)	安田 詩菜 (ヒム力)		
		高校生	榎木那奈美 (清滝)	石神 潤奈 (清滝)	黒木はな乃 (ヒム力)	

第52回宮崎県スポーツ少年団中央大会 競技結果 個人

競技名	種別	第1位	第2位	第3位	
ソフトテニス	小学5・6年生A 男子	川崎康平・大山瑠偉 (清武Jr・スターキッズ)	永田奏輝・生駒勇丞 (スターキッズ・清武Jr)	荒木大河・長友海晴 (東郷ジュニア)	川添莉功・清水瑛介 (東郷ジュニア)
	小学5・6年生A 女子	岩浦里佳・小水流里菜 (清武Jr・うっちゃま)	木脇瑛莉香・中馬青瑠 (都城スマイル)	沼口萌実・江口愛梨 (木城ジュニア)	瀬戸口 快・前田千陽 (スターキッズ・清武Jr)
	小学5・6年生B 男子	野崎章太・有村祐真 (スターファミリーズ)	阿部速土・黒木虹之翼 (川南S T C)	中西騎士・野添幸希 (都城キロロ)	時任美海・大野 之介 (都城スマイル)
	小学5・6年生B 女子	瀬戸長 莓香・奥田真矢 (清武ジュニア)	野崎美羽・重留梨々 (飢肥ジュニア)	上柳千壽・長倉友理奈 (都城キロロ)	佐藤こはる・大野来海 (宮崎ジュニア)
	小学4年生以下 男子	瀬戸長 逞・安藤友哉 (清武ジュニア)	島崎 凜・酒井陽大 (宮崎ジュニア)	壹岐洸太・山口準斗 (東郷ジュニア)	松浦優心・安藤匡人 (清武ジュニア)
	小学4年生以下 女子	前村樹莉・庄司梨乃 (スターファミリーズ)	鈴木心暖・松浦碧海夏 (飢肥ジュニア)	黒木琉子・平元咲絢 (木城ジュニア)	木脇瑛実莉・藤井 遙 (都城スマイル)
	中学生以上	河野剛二・阿部哲也 (川南S T C)	鳥越 悟・松山竜也 (都城キロロ)	小林紗理奈・黒木理恵 (川南S T C)	
テニス	レッドボール	蛭原 紗希 (日南TCジュニア)	山下 芽依 (えびのジュニア)	築地 優果 (小林ジュニア)	
	小学4年生以下 Aクラス	川崎 新 (えびのジュニア)	高地 琉綺 (小林ジュニア)	藤崎 七緒 (清武ジュニア)	
	小学4年生以下 Bクラス	津曲 皓太 (清武ジュニア)	井上 妃菜 (日南ジュニア)	臼井 実優 (小林ジュニア)	本田 祥暁 (小林ジュニア)
	小学5・6年生 Aクラス	川崎 翼 (えびのジュニア)	尾山 琉仁 (えびのジュニア)	上坂 一斗 (えびのジュニア)	松坂 はな (えびのジュニア)
	小学5・6年生 Bクラス	宮本 獅悠 (日南TCジュニア)	数田 悠斗 (清武ジュニア)	霧久 大雅 (清武ジュニア)	
	中学生Aクラス	石黒 未来 (清武ジュニア)	黒木 萌香 (小林ジュニア)	大山 健太郎 (小林ジュニア)	山口明香里 (小林ジュニア)
	中学生Bクラス	前田 佳音 (小林ジュニア)	瀧本 杏朱 (小林ジュニア)	佐多 美琴 (小林ジュニア)	前田 彩貴 (小林ジュニア)

第52回宮崎県スポーツ少年団中央大会 競技結果 陸上

競技名	種別	第1位	第2位	第3位
陸上	6年生男子 100m	滝口俊人 (小林ジュニアアスリート) 1 3秒0 8	帳 悟志 (高鍋陸上) 1 3秒3 6	長友蒼葉 (宮崎西陸上クラブ) 1 3秒5 8
	6年生男子 1000m	瀬治山夕海 (宮崎西陸上クラブ) 3分0 4秒1 7 ※大会新	藤澤拓巳 (新光陸上クラブ) 3分0 9秒3 6	橋本和憲 (宮水クラブ) 3分1 3秒2 9
	5年生男子 100m	中村瑠希 (日南AC ジュニア) 1 4秒1 7	宇田津 蓮 (日向アスリート) 1 4秒3 7	川越祐摩 (西池ジュニア) 1 4秒4 9
	5年生男子 1000m	小玉建志郎 (新光陸上クラブ) 3分1 7秒1 5	清 真優 (新光陸上クラブ) 3分2 8秒8 2	河野駿介 (日向アスリート) 3分2 9秒2 9
	4年生男子 100m	米田崇真 (日向アスリート) 1 4秒6 2 ※大会新	田中孝樹 (日向アスリート) 1 4秒7 9	郡 孝行 (西池ジュニア陸上) 1 5秒2 0
	5・6年生男子 80mH	檜畑陽大 (宮崎西陸上クラブ) 1 3秒8 4	村上友康 (小林ジュニアアスリート) 1 4秒3 7	山本航士郎 (宮崎本郷アスリート) 1 4秒4 9
	3年生男子 100m	杉本寿貴 (宮崎西陸上クラブ) 1 5秒4 3 ※大会新	原田悠大 (西池ジュニア陸上) 1 5秒7 1	山本奏凧 (日向アスリート) 1 6秒0 9
	2年生男子 80M	高市蒼人 (日南AC ジュニア) 1 2秒8 6 ※大会新	岩切隆太郎 (延岡ジュニアクラブ) 1 3秒0 1 ※大会新	満石真生 (延岡ジュニアクラブ) 1 3秒5 4
	1年生男子 80M	続 豪流 (延岡ジュニアクラブ) 1 3秒8 6 ※大会新	甲斐響葵 (延岡ジュニアクラブ) 1 4秒2 3	平島啓新 (高岡陸上) 1 4秒3 0
	中学生男子 100m	黒岩大悟 (西池ジュニア陸上) 1 1秒7 6	黒岩尊斗 (西池ジュニア陸上) 1 1秒8 4	藤川拓巳 (西池ジュニア陸上) 1 2秒0 1
	中学生男子 800m	内田絢也 (北方陸上) 2分1 0秒5 8	小田原雄大 (新光陸上) 2分1 7秒0 5	
	6年生男子 走幅跳	笹岡海月 (宮崎本郷アスリート) 4m 7 8cm	黒木浩輔 (ひむか T&F) 4m 1 1cm	佐藤光流 (宮崎本郷アスリート) 4m 0 7cm
	5年生男子 走幅跳	村北一心 (宮崎本郷アスリート) 4m 0 5cm	黒木海音 (財光寺ジュニア陸上) 3m 9 5cm	吉岡侑星 (延岡ジュニアクラブ) 3m 6 6cm
	5・6年生男子 走高跳	原口颯太 (宮崎本郷アスリート) 1m 3 6cm ※大会新	河野宗一郎 (ななつばえ陸上) 1m 1 5cm	真那田 陸 (ななつばえ陸上) 1m 1 0cm
	中学生男子 走幅跳	上野飛龍 (ななつばえ陸上) 5m 3 7cm	藤井 陸 (ななつばえ陸上) 4m 6 3cm	
	男子 4×100mR	宮崎西陸クラブ上A 5 5秒4 7	宮崎本郷アスリートA 5 6秒3 8	小林ジュニアアスリートA 5 7秒2 9
	4年生以下男子 4×100mR	日向アスリート 1分0 1秒3 1 ※大会新	宮崎西陸上クラブ 1分0 3秒7 8	延岡ジュニアクラブA 1分0 4秒0 5
	6年生女子 100m	星川七海 (延岡ジュニアクラブ) 1 3秒1 0 ※大会新	後藤愛依 (小林ジュニアアスリート) 1 4秒3 0	小林由依 (新富陸上クラブ) 1 4秒8 2
	6年生女子 800M	松本七海 (宮崎西陸上クラブ) 2分3 2秒3 1	黒田乃々 (延岡ジュニアクラブ) 2分3 4秒8 4	佐保 京 (宮水クラブ) 2分3 6秒1 5
	5年生女子 100m	舟橋美琳 (宮崎西陸上クラブ) 1 4秒5 9	年見花星 (西池ジュニア陸上) 1 4秒8 6	本部真央 (西都陸上) 1 4秒9 2
	5年生女子 800m	田中優衣 (宮崎西陸上クラブ) 2分2 8秒7 7 ※学童新	城村瑞穂 (三股ジュニア陸上) 2分4 1秒4 9	三城愛梨 (三股ジュニア陸上) 2分4 4秒8 3
	4年生女子 100m	岸本はな (延岡ジュニアクラブ) 1 4秒4 9 ※大会新	井野有紗 (西池ジュニア陸上) 1 5秒0 3	黒木アースリー (久峰陸上) 1 5秒1 9
	5・6年生女子 80mH	平田奈々 (宮崎西陸上クラブ) 1 3秒7 6	松井和子 (宮崎本郷アスリート) 1 4秒7 0	城山瑚捺津 (細野コスモス Jr) 1 6秒3 3
	3年生女子 100m	在原芽沙 (延岡ジュニアクラブ) 1 6秒2 7	小城心結 (北方陸上) 1 6秒3 2	猪股なのほ (日向アスリート) 1 6秒6 7
	2年生女子 80m	門川雅実 (北方陸上) 1 3秒4 3	中園 葵 (宮崎西陸上クラブ)・竹井育美 (ななつばえ陸上) 1 4秒1 5	
	1年生女子 80m	河野愛莉 (高岡陸上) 1 5秒3 9	平田梓紗 (財光寺ジュニア陸上) 1 5秒4 4	佐藤風暖 (南方アスリートクラブ) 1 5秒5 1
	中学生女子 100m	神田あやの (西池ジュニア陸上) 1 2秒3 2	甲斐よしの (日向アスリート) 1 3秒6 4	門川実咲 (北方陸上) 1 4秒1 1
	中学生女子 800m	小野愛莉 (新光陸上クラブ) 2分2 6秒5 7	中村真子 (新光陸上クラブ) 2分2 7秒4 8	黒田愛梨 (新光陸上クラブ) 2分3 0秒9 0
	6年生女子 走幅跳	山本 彩 (延岡ジュニアクラブ) 4m 0 2cm	河上 愛 (ななつばえ陸上) 3m 6 7cm	山村らいち (宮崎本郷アスリート) 3m 2 9cm
	中学生女子 走幅跳	新坂太佳子 (西池ジュニア陸上) 5m 3 8cm	作本愛怜 (ななつばえ陸上) 4m 8 2cm	甲斐茜音 (延岡ジュニアクラブ) 4m 4 9cm
	5年生女子 走幅跳	湯川琴乃奏 (西池ジュニア陸上) 3m 7 8cm	木口心花 (財光寺ジュニア陸上) 3m 6 8cm	牧野里佳子 (西池ジュニア陸上) 3m 6 8cm
	5・6年生女子 走高跳	河野凜佳 (ななつばえ陸上) 1m 2 1cm	桑水流彩香 (小林 Jr アスリート) 1m 1 8cm	浜田真衣 (ななつばえ陸上) 1m 1 5cm
	女子 4×100mR	延岡ジュニアクラブA 5 5秒4 0	宮崎西陸上クラブA 5 8秒6 0	小林ジュニアアスリートA 5 9秒9 2
	4年生以下女子 4×100mR	西池ジュニア陸上A 1分0 3秒4 5	延岡ジュニアクラブA 1分0 4秒3 8	川南リトルランナーズA 1分0 6秒8 5

第52回宮崎県スポーツ少年団中央大会 競技結果 水泳1

競技名	種別	第1位	第2位	第3位
水 泳	小学1～3年女子 50m自由形	門脇 美翔 (田野水泳) 5 6秒4 7		
	小学4～6年女子 50m自由形	松木園 凜香 (田野水泳) 3 5秒2 4	坂上 愛海 (石崎浜教泳) 3 8秒1 2	谷口 仁香 (日南SC) 4 0秒7 3
	中学生女子 50m自由形	野村 侑伽 (西都SC) 3 3秒0 7	嶋野 麻衣 (西都SC) 3 7秒2 7	緒方 里菜 (西都SC) 3 8秒1 7
	小学4～6年女子 100m自由形	松木園 凜香 (田野水泳) 1分1 9秒9 6	坂上 愛海 (石崎浜教泳) 1分2 4秒8 1	谷口 仁香 (日南SC) 1分3 0秒0 0
	中学生女子 100m自由形	鹿嶋 鈴夏 (西都SC) 1分1 1秒7 1	阿萬 乙媛 (石崎浜教泳) 1分1 3秒6 2	門脇 美聖 (田野水泳) 1分1 4秒1 4
	中学生女子 200m自由形	鹿嶋 鈴夏 (西都SC) 2分3 1秒8 5	山口 茜里 (西都SC) 2分3 2秒1 7	阿萬 乙媛 (石崎浜教泳) 2分4 0秒9 3
	小学1～3年女子 50m背泳ぎ	門脇 美翔 (田野水泳) 1分2 5秒1 5		
	小学4～6年女子 50m背泳ぎ	池宮 桃佳 (田野水泳) 4 3秒3 3	田村 葵衣 (田野水泳) 5 0秒5 2	日高 咲 (田野水泳) 1分0 6秒5 3
	小学4～6年女子 100m背泳ぎ	池宮 桃佳 (田野水泳) 1分3 3秒5 0	田村 葵衣 (田野水泳) 1分5 4秒8 9	日高 咲 (田野水泳) 2分1 9秒7 7
	中学生女子 100m背泳ぎ	久永 佳奈 (田野水泳) 1分2 4秒1 4	松山 愛樺 (田野水泳) 1分4 0秒5 9	嶋野 結衣 (西都SC) 1分4 2秒2 4
	中学生女子 200m背泳ぎ	久永 佳奈 (田野水泳) 2分5 4秒9 6	本田 涼葉 (西都SC) 3分1 7秒6 0	松山 愛樺 (田野水泳) 3分2 1秒8 9
	小学4～6年女子 50m平泳ぎ	本田 彩葉 (西都SC) 5 7秒2 4		
	中学生女子 100m平泳ぎ	立山 來弥 (西都SC) 1分2 9秒1 3	山口 茜里 (西都SC) 1分2 9秒8 8	川越 未来 (田野水泳) 1分3 6秒5 9
	中学生女子 200m平泳ぎ	立山 來弥 (西都SC) 3分0 7秒0 3	川越 未来 (田野水泳) 3分2 2秒8 7	
	小学4～6年女子 50mバタフライ	湊 優香 (田野水泳) 4 6秒1 9		
	小学4～6年女子 100mバタフライ	佐々木 琴巴 (石崎浜教泳) 1分2 2秒9 6	湊 優香 (田野水泳) 1分4 8秒2 9	
	中学生女子 100mバタフライ	門脇 美月 (田野水泳) 1分1 7秒4 3	榎木 美沙希 (石崎浜教泳) 1分3 1秒3 5	北川 真子 (日南SC) 1分3 2秒7 0
	中学生女子 200mバタフライ	門脇 美月 (田野水泳) 2分5 1秒6 2	榎木 美沙希 (石崎浜教泳) 3分2 2秒2 6	
	小学4～6年女子 200m個人メドレー	佐々木 琴巴 (石崎浜教泳) 2分5 4秒4 3		
	小学4～6年女子 200mメドレーR	田野水泳 (池宮・田村・湊・松木園) 3分0 6秒2 6		
	中学生女子 200mメドレーR	田野水泳 (久永・川越・門脇・北林) 2分2 8秒8 9	西都SC A (本田・立山・山口・野村) 2分3 4秒9 6	石崎浜教泳 (阿萬・佐々木・榎木・坂上) 2分4 5秒1 6
	小学4～6年女子 200mR	田野水泳 (池宮・日高・湊・松木園) 2分4 6秒5 0		
	中学生女子 200mR	田野水泳 (北林・久永・門脇美聖・門脇美月) 2分1 2秒0 2	西都SC A (本田・山口・野村・立山) 2分1 4秒4 1	石崎浜教泳 (佐々木・阿萬・榎木・坂上) 2分1 9秒4 6

第52回宮崎県スポーツ少年団中央大会 競技結果 水泳2

競技名	種別	第1位	第2位	第3位
水 泳	小学1~3年男子 50m自由形	大川内 奏太 (西都SC) 39秒14	渡会 清将 (田野水泳) 46秒61	仲田 裕信 (田野水泳) 54秒75
	小学4~6年男子 50m自由形	別府 拓哉 (日南SC) 37秒59	北川 修大 (日南SC) 39秒46	北波 薫 (石崎浜教泳) 39秒55
	中学生男子 50m自由形	朝国 優典 (西都SC) 28秒18	中居 純希 (日南SC) 31秒23	谷口 尊則 (日南SC) 32秒18
	小学4~6年男子 100m自由形	北波 薫 (石崎浜教泳) 1分23秒30	開地 透真 (田野水泳) 1分36秒98	
	中学生男子 100m自由形	朝国 優典 (西都SC) 1分02秒68	湊 聖矢 (田野水泳) 1分02秒88	牧野 滉大 (日南SC) 1分05秒56
	中学生男子 200m自由形	松浦 大輔 (石崎浜教泳) 2分20秒82	湊 聖矢 (田野水泳) 2分23秒70	牧野 滉大 (日南SC) 2分26秒43
	小学1~3年男子 50m背泳ぎ	大川内 奏太 (西都SC) 50秒76	渡会 清将 (田野水泳) 1分01秒83	仲田 裕信 (田野水泳) 1分16秒69
	小学4~6年男子 50m背泳ぎ	川越 優心 (西都SC) 39秒82	坂口 拓未 (田野水泳) 56秒22	坂口 大翔 (田野水泳) 58秒63
	小学4~6年男子 100m背泳ぎ	川越 優心 (西都SC) 1分27秒71	坂口 拓未 (田野水泳) 1分58秒48	坂口 大翔 (田野水泳) 2分06秒99
	中学生男子 100m背泳ぎ	河野 享太 (田野水泳) 1分18秒56	鹿嶋 洸太 (西都SC) 1分24秒16	横山 瑞樹 (西都SC) 1分33秒83
	中学生男子 200m背泳ぎ	河野 享太 (田野水泳) 2分47秒66	荒武 颯 (田野水泳) 3分25秒07	
	小学4~6年男子 50m平泳ぎ	川越 大道 (西都SC) 45秒97		
	小学4~6年男子 100m平泳ぎ	川越 大道 (西都SC) 1分38秒18		
	中学生男子 100m平泳ぎ	高橋慎太郎 (日南SC) 1分20秒49	川口 礼徒 (田野水泳) 1分28秒83	池宮 卓 (田野水泳) 1分32秒85
	中学生男子 200m平泳ぎ	川口 礼徒 (田野水泳) 3分07秒15	池宮 卓 (田野水泳) 3分20秒70	
	中学生男子 100mバタフライ	山下 達也 (田野水泳) 1分29秒46		
	中学生男子 200mバタフライ	山下 達也 (田野水泳) 3分17秒13		
	中学生男子 200m個人メドレー	松浦 大輔 (石崎浜教泳) 2分41秒03	高橋 慎太郎 (日南SCC) 2分48秒40	
	中学生男子 200mメドレーR	田野水泳A (河野・川口・湊・山下) 2分20秒33	日南SC (別府・高橋・谷口・牧野) 2分30秒35	西都SC (鹿嶋・後藤・朝国・横山) 2分33秒69
	小学4~6年男子 200mR	田野水泳 (坂口拓・渡会・坂口大・開地) 3分12秒79		
	中学生男子 200mR	田野水泳A (川口・山下・河野・湊) 2分04秒08	日南SC (谷口・中居・高橋・牧野) 2分06秒30	西都SC (後藤・鹿嶋・横山・横山) 2分20秒53

目指せ! TOKYO オリンピック

しまづ さやこ
島津早耶子選手



競技種目 / カヌースプリント競技カナディアン
所 属 / UMK テレビ宮崎
出 身 / 宮崎県宮崎市
出 身 校 / 県立宮崎大宮高等学校 鹿屋体育大学
競技実績 / カヌースプリント日本選手権
カナディアン 200m 優勝 (2 回目)

2020年に東京で開催されるオリンピック・パラ
リンピックへの出場が有望視される、本県に縁の
あるアスリートを紹介するコーナーです。
2回目の今回は、カヌースプリント競技の島津
早耶子(しまづさやこ)選手です。

事務局 先ず最初にカヌー競技を始めた
きっかけ及び魅力はなんですか?

島津選手 中学時代は水泳部に所属して
いました。姉と兄が大宮高校でカヌー
部に所属していたので、家庭ではカ
ヌーに関する話題が当たり前でした。
高校に入学し、部活動の体験入学で初
めてカヌーに乗りました。それが、結
構上手く乗れたんです。それで自分は
素質があるのかな(笑)と思いカヌー
部に入部しました。

カヌー競技の魅力は、水上でコンマ
の戦いを繰り広げることです。また、
屋外競技なので、風向きや水流などの
自然に左右されることも大きいです。

今、世界は体の大きい外国人選手が
トップとして君臨しています。パワー
では太刀打ちできませんが、日本人なら
ではの技術で勝負していきたいと思
います。

事務局 次に幼少の頃はどんなお子
さんでしたか?

島津選手 何でもやりたがる子どもだっ

たように思います。中学校の頃までは
学級委員長などにも積極的に立候補し
ていました。ただ、高校でカヌーを始
めるとそれに没頭し、全てのエネルギー
をカヌーに注ぎ込んだように思えます。
事務局 なるほど、その一本気な性格が島
津選手をここまで成長させたのですね。
次にカヌー競技を続けてきて、辞めたい
と思ったことはありませんか?

島津選手 正直一度もありません。特に、
今年の5月から日本代表合宿に参加させ
ていただき、ブラジル人コーチの指導の
おかげで好成績が収められるようにな
りました。今は楽しくてしょうがありません。
ただ1年間のうち、半分以上を合宿や
大会等に費やしています。それを快く承
諾していただいている、勤務先のUMK
テレビ宮崎には心から感謝しています。

事務局 そうですね。その周囲への感謝の
気持ちを持ち続けることが、強さへの原
動力かもしれませんね。次にトップアス
リートとして、日常生活で気を付けてい

ること、そして日々の練習の中で心掛け
ていることはなんですか?

島津選手 とにかく睡眠時間を十分に確
保することを心掛けています。また、食
事についても野菜中心のバランスのよい
食事を摂るようにしています。

普段の練習で心掛けていることは、毎
日細かな目的をもって練習に臨み徹底
することです。そして、常に研究を重ね
ることだと思います。私の好きな言葉に
「やればできるは一生できない」とあり
ます。やればできるのではなく、やらな
ければ何も始まらないのです。

事務局 なるほど、素晴らしい言葉です
ね。最後になりますが、今後の目標を教
えてください。

島津選手 ずばりTOKYOオリンピックで
金メダルを取ることです。

事務局 力強い言葉ありがとうございます
です。島津選手は県民の希望です。御期待
申し上げます。本日はありがとうございました。

取材を 終えて

取材場所はいつも練習を行っている県立宮崎商業高校横の河川敷で行いました。あいにくの曇り空で、いつ雨が降ってもおかしくない状況でした。そんな中、島津選手に来ていただいたのですが、なんと手には傘、そしてどこに座ってもいいように座席シートまで準備してくれていたのです。正直感銘を受けました。強い選手は気配りができる選手といえます。まさにそのとおりでした。そして思っていた以上に小柄な体格でした。本人曰く「日本代表の中でも一番小さいんです。海外に行ったら小学生と間違われました(笑)」とっていました。その体格差をもとめず、日本チャンピオンに2度輝くということは、たゆまぬ努力があったからだと思えました。

今回の取材をとおして、「競技力向上は人間力向上」という言葉を思い浮かべました。まさに島津選手はそのとおりの人物です。彼女の素直さがスポンジのようにプラスの物事を吸収していくのでしょうか。これからも大いに活躍の期待ができる本県アスリートです。

スポーツ医・科学委員会便り

スポーツと 理学療法士

～ 宮崎県の現状 ～

一般財団法人弘潤会野崎東病院
アスレティックリハビリテーションセンター
おざき かつひろ
尾崎 勝博

昨今、スポーツに関わる理学療法士(以下、PT)の数は年々増加しつつある。対象者も競技スポーツのみならず、障がい者スポーツ、地域スポーツ、生涯スポーツ等と多様化し、スポーツ復帰、外傷疾病予防、パフォーマンス向上等への対応が求められている。その実践は医療機関にとどまらず、スポーツ現場にも拡がりを見せている。今回は、スポーツ理学療法に関わる様々な歴史や、国の施策を振り返りながら、宮崎県の例を取り上げ、スポーツ理学療法のこれからについて私見を述べたい。

我が国のスポーツ理学療法の歴史は、東京オリンピックが開催された1960年代に遡る。当時は国家事業の一つとして1967年に日本体育協会スポーツ診療所が開設され、その後、公的・民間のスポーツ専門機関をはじめ、スポーツ専門診療科を有する医療機関等、様々な場所でPTがスポーツ選手を対象とする場面が増加してきた。2000年代に入ると、文部省(当時)が国際的な競技力向上を目的にスポーツ振興基本計画を策定し、2001年には国立スポーツ科学センター(JISS)、2008年にはナショナルトレーニングセンター(NTC)が開所した。また、2011年にはスポーツ基本法が施行され、国民のスポーツ権を保障することや地域スポーツから競技スポーツに至るまで国家が環境や体制の整備等の施策を行うことが明記されている。今年の10月にはスポーツ庁も新設される予定であり、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けてスポーツを取り巻く情

勢はさらに大きく変化していくであろう。

PTがスポーツ現場で選手の外傷・障害予防や健康管理などに携わる際、トレーナーと称して活動する。トレーナーに関しては1994年に我が国で制度化された唯一の公的資格として日本体育協会(以下、日体協)公認アスレティックトレーナー(以下、JASA-AT)があり、現在は全国に約2,300人の有資格者がいる。近年では、JASA-AT有資格者の中でもPTの資格を有する者が増加している。また、日本理学療法士協会では2009年にスポーツ医療分野として「スポーツ理学療法研究部門(JSPS)」を設立し、2014年には日本スポーツ理学療法学会主催による第1回日本スポーツ理学療法学会学術集会が開催される等、協会におけるスポーツ分野の体制も充実してきている。

こうした環境の中、病院でのスポーツ理学療法は、協会等のサポートの中である程度議論され、方法論の確立や治療成果も報告されている。しかしながら、実際のスポーツ現場の中で選手から求められる安全で効率のよい動作の獲得や急性・慢性外傷予防等に関する客観的な情報はまだまだ不十分である。我々はこれらの事を考慮し、これからのスポーツ理学療法を図1に示すように、一般的な「病院スポーツ理学療法」に加えて、それぞれの地域での学校スポーツ現場や健康増進に関わる「地域スポーツ理学療法」、各スポーツ関係機関と連携して行う「社会スポーツ理学療法」の3つに分類し、それぞれの

理学療法の分類

活動拠点と内容

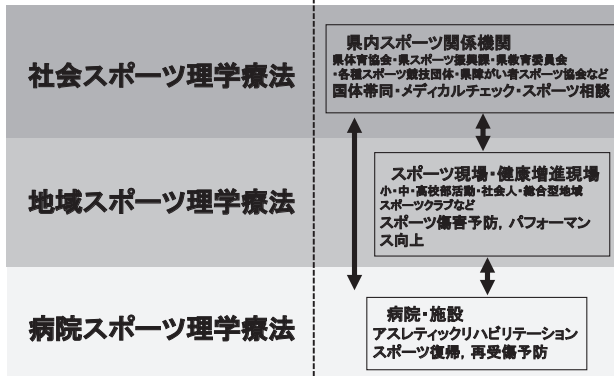


図1 スポーツ理学療法の分類(尾崎)

場所や状況に対応した理学療法を展開していく必要があると考えた。

実際、病院スポーツ理学療法を行うPTの中にはスポーツ現場での活動を望む者もいるが、現場で求められる知識や技術、また病院からスポーツ現場へ活動の幅を広げるための方法論が明確にされておらず、トレーナーとして活動する入口を狭くしている可能性がある。そこで本県では地域スポーツ活動に貢献できるトレーナー育成と現場活動への支援システムの構築を目的に、2008年に宮崎県理学療法士会(以下、県士会)の事業としてみやざきトレーナーズセミナー(以下、MTS)を設立した。2年間に及ぶ講習の後に試験を設け、そのMTS合格者は、県士会認定トレーナーとして高校部活動を中心に活動し、地域スポーツに貢献するための知識と技術を学ぶことが出来る機会として意義あるものになったと考える。

2012年には、このようなMTSの取り組みが、県を巻き込んだ「社会スポーツ理学療法」への足掛かりとなり、宮崎県体育協会(以下、県体協)と連携した県体協認定アスレティックトレーナー(以下、県AT)養成講習会がスタートした。この講習会はJASA-ATや日体協公認スポーツドクターの緊密な協力のもと、宮崎県のスポーツ振興や競技力向上に貢献する人材を幅広く育成する目的を持ち、図2に示すように、受講対象者に対してJASA-AT養成講習会テキストに沿った講義及び検定試験を行っている。また、PTに加え、柔道整復師、鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師といった様々な職種との情報交換や連携も視野に入れたものになっており、現場が求める知識や技術の研鑽と同時に、選手のみならず監督・コーチひいてはスポーツ関連機関とのコミュニケーションがとれるようなトレーナーの人間性の教育にも力を入れている。現在TASA-ATと県AT合わせて

40名を超えるトレーナーが誕生しており、専属トレーナーの希望のあった26競技団体にトレーナー配置が実現できた。今後はトレーナーの組織化に向け、医師部会を始めとしたスポーツ医科学委員会と連携して活動できるような環境を整備していく必要が在る。

【受講対象者】

県内在住で理学療法士、柔道整復師、鍼師、灸師、あん摩マッサージ指圧師などの医療資格を有することを原則とし、宮崎県体育協会加盟団体、本講習会後援団体、スポーツ医科学委員会、日本体育協会公認スポーツドクター、日本体育協会公認アスレティックトレーナーが推薦した者

【カリキュラム】

- 1) 共通科目(自主講習)
 - ・NHK学園通信教育もしくはスポーツ少年団認定員養成講習会を受講し、証明書を県体協に提示する
- 2) 専門科目(集合講習)
 - ・年5回、30時間の養成講習会を受講
- 3) 検定試験
 - ・5時間の検定試験を実施
 - ・日体協公認スポーツドクターとJASA-ATがペアになり検定員をつとめる
 - ・筆記試験(基礎問題70問、応用問題70問)
 - ・実技試験(応急処置、アスレティックリハビリテーション、テーピングの3カテゴリー)
 - ・筆記、実技ともに7割以上を取得できた者を合格とする

図2 宮崎県体育協会認定アスレティックトレーナー養成講習会概要

以上のように、これまでの10年でスポーツに携わるPTの活躍の場は拡がり、またそれに伴い対象者に提供する理学療法も質が求められる時代になってきている。だが、先に述べた活動をする中で、トレーナーとして活動するPTに対する世間の認知は十分ではなく、その専門性が多くの人からは解りづらい一面があることも感じている。これからのスポーツ理学療法の10年は医療のみにとどまらず、地域住民や各スポーツ関連団体といった社会との連携を築き、その中でPTの知識と専門性を発展させながら、その有効性が理解される施策を考える努力が必要であろう。折しも宮崎県では今年の4月17日に県知事をはじめ県体協会長等が日体協及び文部科学省へ、平成38年(2026年)の第81回国民体育大会の開催要望書を提出しており(現在、内々定)、それに向けた活動の展開が我々スポーツに携わるPTにも早急に望まれている。

【参考文献】

- ・尾崎 勝博: スポーツ理学療法としての地域貢献 - スポーツランド宮崎構想・スポーツメディカルサポートシステムの紹介 - 宮崎県理学療法士会「宮崎トレーナーズセミナー」の設立 - 理学療法学第38巻8号:578-579,2011
スポーツ復帰に向けた系統的な理学療法の取り組み PTジャーナル第46巻第7号:593-599,2012
スポーツ理学療法の現状と将来展望
- ・小林 寛和: 理学療法 22:1187-1190,2005
スポーツ理学療法のかかわり PTジャーナル第46巻第7号:579-584,2012

加盟団体便り **ボクシング連盟**

宮崎県ボクシング連盟のあゆみと ボクシング競技の競技力向上計画

宮崎県ボクシング連盟 理事長 菊池 浩吉

1. 宮崎県ボクシング連盟のあゆみ

昭和54年、国民体育大会（宮崎県開催）を目前に控えた前年度に宮崎県ボクシング連盟が擁立された。そして宮崎実業高等学校（現在、日章学園高等学校）にボクシング部が創部され、その後は宮崎日大高等学校、宮崎中央高等学校（現在の鵬翔高等学校）、都城東高等学校にボクシング部が創部された。

全国の強豪の轟めく九州地区に肩を並べるのではないかと期待されたが、現在では、日章学園高等学校1校となっている。しかし、競技力は順調にすすみ、昭和62年度全国総合体育大会で日章学園高等学校は学校対抗で優勝（1回目）、平成7年度の同大会でも学校対抗優勝（2回目）、平成26年度の全国総体学校対抗では3位、平成27年度と平成28年度では2連覇という偉業を成し遂げている。

宮崎県ボクシング連盟の発足から僅か37年間で、全国制覇4回、九州大会最多優勝校となっている。

2. 少数精鋭の現在を支える全国初の 中学校ボクシング部の創部

区分	H26年度	H27年度	H28年度
中学生	12	11	11
高校生	27	28	29
一般	4	5	3

2度目の全国制覇をしてから、県内のボクシング人口は減少した。平成10年には日章学園高等学校だけでも50名いた部員が、平成20年には30名を割り込んだとき、このままでは全国で勝てないと、全国初の中学校ボクシング部を創部。少数精鋭路線

となり、中学校3年間の経験が、高校で大きな飛躍に繋がっている。

高等学校では、技術的・フィジカルでも大会レベルで練習しており、中学生がその練習の一端に触れることは、その後の競技活動において大きなアドバンテージを持つことになる。日章学園中学校のもつ目標は極めて大きい。

3. 第2の壁

少数精鋭で結果を残したが、タレント発掘に関しては大きな問題が立ちだかる。競技のイメージである。減量・過酷・怪我や事故・後遺症など、誤解によって保護者がやらせたくない競技である可能性があると考えられる。

4. 打開策

- ボクシング教室（タレント発掘・イメージアップ）
- 実戦空手道への技術指導（タレント発掘）
- 指導者の育成（常に新しいトレーニング理論の導入）

5. チャレンジマッチ (平成28年6月25・26日)

- 25日（土）ボクシング教室
- 26日（日）全国選抜チーム（ドリームチーム）VS
県選抜チーム対戦

【目的】 宮崎県ボクシング連盟

- 1) 全国大会に向けて組織力向上を目指す。
- 2) タレント発掘
- 3) 競技イメージの向上
- 4) 競技力向上



開会式



1日目 ボクシング教室



2日目 チャレンジマッチ

【所感】

ボクシング教室については、楽しくボクシング練習をしてイメージアップを図れたと感じている。ボクシングへの興味を持つ子供たちの数に、未来の明るさを感じた。

チャレンジマッチでは、全国選抜のドリームチームは強く、結果的に惜敗だった。全国総体では、来県した選手が各階級ベスト4に名を連ねており、本県としても日章学園高等学校の学校対抗戦2連覇という輝かしい記録を打ち立てたことから、目的を達成できたものと自負している。

今回、メディアによる宣伝の効果は大きく、ボクシング競技に興味をもつ子供たちの数に驚きつつ、今までの宣伝のあり方についても考える機会を得た。また、競技

についてもアナウンスによる盛り上げ方を学んだ。

【今後の強化】

平成38年度国民体育大会を当面の最終目標として、それまでも全国選抜大会や全国総体並びにプレ大会として各大会を運営することとなる。今回、組織の結束力をアップできたことや競技力の向上も果たしていることから、少しずつ前進して、大会開催と試合結果を残せるように、県連盟理事が総力を挙げて邁進することを誓いたい。

- ①宮崎県ボクシング連盟の組織力アップについて、今後の大会運営を通じて更に高めていく。
- ②他競技(実戦空手)とタイアップして、ボクシング人口の増加とタレント発掘をしていく。
- ③日章学園中学校の強化をすすめ、高等学校の競技力向上に繋げていく。
- ④高等学校は、日章学園高等学校に競技力を集中させることとし、全国制覇・天皇杯・皇后杯高得点に繋げていく。
- ⑤東京オリンピックで日本を代表となる選手を、宮崎から輩出する。

以上のことを念頭におき、努力する。

【最後に】

ボクシング競技の発展に対して、宮崎県体育協会、宮崎県教育委員会、宮崎県高等学校体育連盟より、多大なご支援を賜っていることに感謝を申し上げます。

日本のボクシング競技の発展のためには、世界で活躍することが重要だと考えております。また、女性の活躍や競技人口増加をすすめなければ、競技の展望は望めません。

宮崎県ボクシング連盟は、【今後の強化】を邁進しつつ、確実な一歩を歩み、その目標を達成したいと考えております。

今後とも関係各位の皆さまのご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

現場から 指導の

前号では宮崎産業経営大学サッカー部監督の笛真人氏を紹介いたしました。今回は県立宮崎工業高校陸上競技部監督である稲垣徳文氏にお話を伺いました。

稲垣 徳文氏
県立宮崎工業高校
陸上競技部監督



事務局 先ずは、昨年度行われた日本ユース陸上競技選手権大会男子4×100mRにおいて大会新、県新記録での優勝。そして、本年度行われた全国高校総体陸上競技大会男子4×100mRにおいて、県勢では31年振りの3位入賞の2位(県記録更新)という素晴らしい結果に対しまして、心より御祝いと感謝を申し上げます。

さて、陸上競技は他者との戦いでもあり、記録との戦いでもあると聞きますが、陸上競技の魅力とはなんですか。

稲垣氏 私は記録データ等が大好きで、大会はもちろんのこと練習のタイムもマイウォッチで測定して、その数字を見ながらこれから迎える大会の記録や順位を予測したりするのが楽しみです。ストップウォッチの数字を見て自分のテンションを上げ、叫びながら選手と一緒に走っている感じ。大会中のメインスタジアムでもアップ場でも、そして普段の練習中でも私の叫び声がグラウンド中に響き渡っています。また感覚的なものを探っていくのも陸上競技の楽しさだと思っています。効率よく前に進むための方法を自分の体を使って感じながら、作り上げていく作業が面白いと思います。

しかし、アウトドアで行う陸上競技は天候にすごく左右されるので、なかなか思った記録が出ずに、もやもやする時もあります。それに陸上競技はエントリー・オーダーを提出したら、自分自身で最後までやり遂げないといけないプレッシャーがかかってきます。記録会でいくら良い記

録を出しても、選手権になると力が出せない選手もいます。その逆で、大きな舞台になればなるほど力を発揮する選手がもちろんいます。プレッシャーのかかる場面で力が出せるかどうかというのは、最後は人間力だなと毎回痛感しています。

事務局 人間力ですか…。全ての競技に精通することですね。次に男子4×100mRのメンバーは高校入学で急速に強くなったと聞きましたが、その要因はなんですか。

稲垣氏 1走は100m全中出場、2走は100m全中7位、3走は200m九州8位、4走は200m県中学4位なので、宮崎県の選手としては十分な実績だと思います。小・中学校に熱心な指導者の方々がたくさんいらっしゃいますので、宮崎のジュニアのレベルは確実に上がってきていると思っています。

高校入学後、全国のファイナリストで戦える力をつけていくためには、「アセラズ・アワテズ・アキラメズ」じっくりと、一夏一冬のトレーニングを繰り返しながら、早く走る為に必要な要素を積み上げていくしかありません。3年生が強ければ2年生・1年生は練習の中でその感覚を感じて自然と身に付いていきます。無理に矯正せず、じっくりと育てていって欲しいと思っています。今年の1年生もこの秋にきて飛躍的に記録が伸びてきました。

そして地方の殻を破るために、全国の競技会や合宿等に参加させていただいております。お

かげさまで全国に多くの仲間がいます。視点を全国に向けてあげることが飛躍に繋がっているのかもしれませんが。

また、リレーにはそれぞれの走順に特性があります。その特性を引き出すためのトレーニングも行っており、その中でそれぞれの走順に合った選手を配置し、1走からの流れを大事にしています。

事務局 指導者にも我慢が大切だということを改めて感じますね。次に、長年指導をされてきて普段から心掛けていること、そして強くなる選手とはどのような選手だとお考えですか。

稲垣氏 私のモットーは「MAX POWER」です。何事にも最大限の力で、精一杯取り組むようにしています。ネガティブではなくポジティブに…。

そして勇気を出して一步踏む出すことを心掛けています。なかなかこの一步が難しいのですが、踏み出せばすぐに千歩万歩になります。そして億・兆にと無限大に広がっていきます。

あとは陸上競技者に必要なのは、自分で考えて行動し、己を律することができること(自主自律)だと思いますので、選手たちにも自律した高校生になるように常に話をしています。

力をつけて全国で戦う選手達は上記のことができており、全国各地の大会に行ってもホームで戦っているように自分のペースでレースに臨むことができています。

事務局 「自主自律」。日常生活が結果に比例してきますね。さて、今後も宮崎工業高校陸上部の強さは続くと思いますが、今後の目標をお聞かせください。

稲垣氏 今シーズン、両リレーについてはインターハイ優勝と全国高校記録樹立という大きな2つの目標を掲げて臨みました。4×100mR→2位(県新・県高校新)、4×400mR→8位(県新・県高校新)という結果で、残念ながら悲願の宮崎

県男子初優勝を成し遂げることはできませんでした。

しかし、全国高校記録を打ち立てるという気持ちはシーズン最後までおれることなく、11月5日に行われた今シーズン最終戦のエコパトラックゲームズで、連戦が続く中ではありましたが、学校別全国高校記録にあと0秒13に迫る39秒77という全国高校歴代4位(学校別3位)という立派な記録を出してくれました。40秒91だった県高校記録をこの3年間で1秒14まで縮めてくれました。

今回のチャレンジを共にしてきた後輩達と再び高き目標を掲げ、再度チャレンジしていきたいと考えております。また、高校時代が全てではないので、オリンピックに向けた育成・強化、国体での成年種別の継続した得点獲得等につながるように、高校卒業後に自らを更に高めていける選手育成に努めていきたいと思えます。

事務局 最後になりますが、本県スポーツ界が更なる競技力向上を目指す上で、何かお考えがあればお聞かせください。

稲垣氏 現在も県の各機関やそれぞれの競技団体で、競技力向上のためにいろいろと取組が行われています。競技結果は年によって善し悪しがありますが、そこだけに一喜一憂せず、大きな夢を持ち、必ずできるという気持ちで「アセラズ・アワテズ・アキラメズ」「明るく 爽やかに 生き生きと」「一步 踏む出す勇気を持って」取り組んでいくことではないかと思えます。多くの方々にお世話になっていることに感謝して、今後とも競技力向上に努めていきたいと思えます。

事務局 ありがとうございます。今回は御多忙中にも関わらず、取材に応じていただいたことに感謝申し上げます。今後の更なる御活躍を期待しております。

取材を終えて

今回は、稲垣徳文監督にスポット当てました。一言で申し上げますと、非常に熱い監督です。稲垣監督の溢れんばかりの情熱がひしひしと伝わってまいりました。今回の取材をとおしまして、目標とされている宮崎県男子初優勝は先の話ではないと感じた次第です。

チーム宮崎ペンリレー

夢への挑戦



県立都城西高校女子バレーボール部
監督 宮ノ下 雄司

振り返るとバレーボールの指導に携わり30数年の時間が流れた。

昭和63年4月、夢にまで見た体育教師としてのスタートを切った。28歳の春であった。高校での体育教師を目指していた私であったが、その当時中学校の採用試験しかなく、6度目の挑戦の末に延岡中学校での夢へのスタートが始まった。初任から3年担任。何も分からぬまま全てに突っ走った。若さに任せ、ただひたすらに頑張っていた頃が今では良き思い出であり、何かしら大きな土台として今の自分を支えてくれているように思う。

それと同時に憧れていたバレーボールの指導者としてのスタートでもあった。とにかくバレーボールを指導できる事が楽しくて嬉しくて……。初のボーナスでなければなしの金をはたいて、講師時代に考えていたユニフォームのデザイン画と一緒にスポーツ店に駆け込んだ。そして入学したばかりの女子バレーボール部員に「3年後には全国に、このユニフォームを着て行くぞ」

そんな無鉄砲な日々が続き、3年目の夏に県大会優勝、九州大会3位の成績で愛媛県の松山市で開催された全国中学校体育大会に初出場する事ができた。開会式でユニフォームを着た生徒が涙でかすんでいたのを今でも懐かしく思い出される。

延岡中学校で4年目となり、ようやく仕事にも監督としても少しではあるがスムーズに動き出した頃、高校転籍採用試験のチャンスが訪れ、どうしても春高バレーの夢を捨てきれず、高校への転籍の夢へ挑戦する決意を新たにした。

時は平成4年、宮崎はまさに「夢きらめいて、宮崎の空の下」全国高校総体の年であった。

4年間の延岡での思い出を胸に、日南高校でのスタートが始まった。悪戦苦闘しながら、オレンジの日南カラーが県のベスト4の常連として、上位を脅かすまでに4年の歳月が掛かった。5年目に初優勝はしたものの全国出場の壁は高く、どうしても私学の常連校には力負けしてしまうのである。

高校時代から夢にまで見た「春の高校バレー」そう簡単には神様は夢を叶えさせてはくれなかった。煮えたぎる情熱を秘めながら、平成9年4月いよいよ都城商業への異動とともに18年に渡る苦悩とそして震えるような感動のスタートを切ることとなった。

都城商業時代の日記より
・平成9年4月22日 (火)
今日もミーティングをした。

「先生の勝ちたいと私達の勝ちたいは意味が違う」

「楽しくやって勝ちたい」

「黙って見てほしい」

「なぜ、髪を結ばないと勝てないのか」

「なぜ、髪を切らないと勝てないのか」

「なぜ、バレー以外のことまで口を出すのか」

「なぜ、なぜ、なぜ、なぜ、なぜ、なぜ」

「だったら、やめる」

これを書きながら、涙が出そうだ。

一生懸命やろうとする気持ちが揺らぐ？

たとえ一人になっても、俺は続ける。

.....

幾度となくミーティングをした。説得し夢を語り、問いただし続けた。最終的に部員7人、それもほとんどがレシーバー。この7人をワゴン車にのせ、中学校回りの日々であった。これだけ夢を語れば簡単に選手が集まると思った。

しかし現実には、「先生の情熱はありがたいが、やっぱり・・・。」やはり無理かあ～

3年が過ぎようとしていた。しかしその頃からである、生徒の意識が次第に変化し始め、周囲の評価も上がりつつあった。有望な新入生も夢をともに歩んでくれるようになったのである。

そして平成13年春 —

高校時代から夢に見続けていた「春高バレー全国大会」に出場したのだ。41歳の春、都城商業高校に赴任して5年目であった。実に25年かけての夢実現、震えるような感動と歓喜の渦の中、我を忘れて泣きじゃくった。嬉しかった。ただただ嬉しかった。

平成13年から平成26年までに春高バレー全国大会6回、全国高校総体6回の12回の全国の舞台を経験させてもらった。

今、振り返るとひたすらに夢を追い続けた18年間であり、溢れんばかりの情熱こそが我がバレー人生を支えている。技術と指導方法は数多くの諸先輩方から指導をいただき、また盗み、工夫してきたがこの情熱は自ら湧き出るものであり、感じるものである。指導者にとって何をさておいても、まず一番に大切なものそれは「情熱」である。

都城西高校に赴任し最後の教師生活とバレーボールにどのような形で接して行こうか随分迷い葛藤もあったが、やはり私に感動することの素晴らしさを教えてくれたこのバレーボールという競技を通して、最後の最後まで情熱のある限り、一人でも多くの子供たちに夢を語り、努力する事の素晴らしさを伝え続ける事が私の使命だと思っている。

そして今ここ都城西高校で 生徒と共に汗を流す日々が続いている。

Last Dreamへの挑戦 を合言葉に!

「私たちは宮崎のスポーツを応援します」

《ご協力ありがとうございます》

本会の賛助会員として御入会を賜り、事業推進にご協力いただいております個人・団体・企業の皆様方の御芳名を掲載し、謹んで謝意を表しますとともに、平成38年度本県開催国民体育大会成功のため、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

(平成28年4月1日から平成28年10月末現在)

50音順、敬称略

I 法人・企業・団体名(166)

アイワ工業株式会社	旭化成株式会社延岡支社
アリストンホテル宮崎	居酒屋・活漁 善助
一般財団法人弘潤会野崎東病院	一般財団法人みやざき経済研究所
井上酒造株式会社	医療法人雅会河野整形外科
雲海酒造株式会社	エースランド株式会社
江坂設備工業株式会社	MG S 有限会社
Mスポーツ整形外科クリニック	大塚製薬株式会社宮崎出張所
大淀開発株式会社	小田油脂工業
学校法人順正学園九州保健福祉大学	学校法人宮崎総合学院
株式会社AAO	株式会社AVC放送開発
株式会社JT九州宮崎支店	株式会社青島グランドホテル
株式会社イー・アール・シー高城	株式会社エアラインホテル
株式会社エスアイエス	株式会社岡崎組
株式会社奥松建設	株式会社九州コミュニティーカレッジ
株式会社共立電機製作所	株式会社黒木本店
株式会社興電舎	株式会社コム光成
株式会社児湯食鳥	株式会社タダスポーツ
株式会社タビックスジャパン宮崎支店	株式会社テクノミックス
株式会社テレビ宮崎	株式会社デンサン
株式会社永野(うめこうじ・ながの屋)	株式会社中山荘
株式会社ニチワ	株式会社ニューウエルシティ宮崎
株式会社ほっかほっか亭宮崎地区本部	株式会社ホテルマリックス
株式会社南日本ネットワーク	株式会社宮交シティ
株式会社宮崎観光ホテル	株式会社宮崎銀行
株式会社宮崎太陽銀行	株式会社宮崎ツアーサービス
株式会社宮崎日日新聞社	株式会社宮崎放送
株式会社宮崎山形屋	株式会社夕刊デイリー新聞社
株式会社ヨシダや	神崎建設工業株式会社
協同紙工株式会社	京屋酒造有限会社
霧島酒造株式会社	倉本鐵工株式会社
黒木穰税理士事務所	現代ビジネススクール八輪会
公益財団法人スポーツ安全協会宮崎支部	公益財団法人みやざき観光コンベンション協会
公益財団法人宮崎県スポーツ施設協会	公益社団法人宮崎県柔道整復師会
合資会社小川屋	合資会社ルミエール日向
興梶豆腐有限会社	興和商事株式会社
子宝・安産の宿 地蔵庵	清本鐵工株式会社
JTB協定タクシー連盟宮崎会	JTB協定旅館ホテル連盟宮崎支部
セラミックオフィス図師	大星電機株式会社
高鍋信用金庫	ちさか小児科
手作り弁当マロ	東武トップツアーズ株式会社宮崎支店
野崎漬物株式会社	延岡信用金庫
原徹司法書士事務所	バラの砂
フエニックスリゾート株式会社	福岡木材有限会社
部落差別をなくす県民会議	弁護士法人衛藤法律特許事務所
保険サット株式会社	ホテルシーズン日南
ホテルメリージュ	松田商事株式会社
丸山物産株式会社ホテルクレイン橋	丸山物産株式会社ホテルスカイタワー
道本食品株式会社	南日本酪農協同株式会社
宮銀カード株式会社	宮銀ビジネスサービス株式会社

宮銀ベンチャーキャピタル株式会社
 宮銀リース株式会社
 宮崎液化ガス株式会社
 宮崎ガス株式会社
 宮崎空港ビル株式会社
 宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合
 宮崎交通株式会社(宮交ホールディングス)
 宮崎信用金庫
 宮崎ひむかライオンズクラブ
 民宿美波
 米良電機産業株式会社
 有限会社アーキコスモ
 有限会社いろは企画
 有限会社郡山板金工業所
 有限会社創和
 有限会社タケマサ自動車整備工場
 有限会社橋本商会
 有限会社マイルストーン
 有限会社宮崎上水園
 ゆち内科胃腸科クリニック
 旅情苑やまざと
 一般社団法人宮崎県バスケットボール協会
 特定非営利活動法人宮崎県サーフィン連盟
 宮崎県グランドゴルフ協会
 宮崎県高等学校体育連盟
 宮崎県四半的弓道連盟
 宮崎県柔道連盟
 宮崎県スイミング協会
 宮崎県ソフトボール協会
 宮崎県卓球協会
 宮崎県軟式野球連盟
 宮崎県バレーボール協会
 宮崎県ボウリング連盟
 宮崎県ラグビーフットボール協会

宮銀保証株式会社
 都城信用金庫
 宮崎カーフェリー株式会社
 みやざき魚菜志ほ
 宮崎ケーブルテレビ株式会社
 宮崎県遊技業協同組合
 宮崎酸素株式会社
 宮崎日産自動車株式会社
 宮崎ヤクルト販売株式会社
 名鉄観光サービス株式会社宮崎支店
 有限会社青木画材店
 有限会社いっせい・お弁当のくらく亭
 有限会社かわにしスポーツ
 有限会社こどもの村 野村瓦屋
 有限会社ソニア
 有限会社トレス
 有限会社ホテル金住
 有限会社山崎自動車
 有限会社吉見歯科器械店
 吉原建設株式会社
 一般社団法人宮崎県サッカー協会
 一般財団法人宮崎陸上競技協会
 宮崎県弓道連盟
 宮崎県ゲートボール協会
 宮崎県高等学校野球連盟
 宮崎県銃剣道連盟
 宮崎県水泳連盟
 宮崎県スケート協会
 宮崎県体操協会
 宮崎県中学校体育連盟
 宮崎県バドミントン協会
 宮崎県武術太極拳連盟
 宮崎県ライフル射撃協会
 宮崎県レスリング協会

II 個人会員(86)

秋田義久	朝比奈紀行	東啓三	東行男
新木るり	安在康喜	飯干裕二	石原実
井上みづえ	井野浩司	入倉俊一	岩切昭二郎
岩切正義	上杉聡視	植松義文	内之倉和彦
大澤由一	大西敏夫	尾崎太朗	長田貞次郎
押川尚生	甲斐藤昭	鹿島庄一郎	片岡光宏
鎌田伸次	上江田安博	川崎重雄	川添健一
河内徳康	黒木誠一郎	児玉剛	桑畑裕子
財津吉長	斉藤重保	坂口和隆	佐藤勇夫
佐野正紀	塩月光夫	重信和行	菅薫均
鈴木修也	園田浩二	高山秀明	菅代康裕
田中裕久	谷口誠也	田村司	中馬康裕
黒葛原朱美	東長達也	得能剛	長倉春義
長友辰雄	長友文子	長友寧雄	永野雄造
中村正親	中村嫁	丹生進一	橋口敏昭
橋田和実	花田寔	原口宏史	原田彰彦
原田誠	日浦二三男	日高巽	廣前原央志
廣田忠則	藤元良一	古川康二	前原大蔵
三浦徹也	水迫勇	宮田直之	向井正義
森九州男	森隆茂	森本顕也	葉師常
安影和寿	横山博典	渡邊理	渡邊
若林繁幸	和田保典		

III 香典返し(0)

編集後記

本年度の国民体育大会第36回九州ブロック大会は、本県が主管県として開催されました。この開催に際し、2年前より諸会議等を段階的に行い、準備に取り組んでまいりました。無事に大会が終了したことを御報告申し上げるとともに、携わっていただいた全ての方々に衷心より感謝申し上げます。また、競技結果も目標とする40種別を突破し、計21競技40種別が本国体に出場しました。

本国体である「2016 希望郷いわて国体」においては、目標としていた天皇杯30位台を確保し、39位という成績でした。また、皇后杯も昨年度の最下位から44位と順位をあげることができました。この成果が残せたことも、関係各位の御尽力の賜物だと感謝いたします。しかし、これに満足することはなく来年度の本国体である「愛顔(えがお)つなぐえひめ国体」では天皇杯順位30台中盤を目指していただきたいと思いますと考えております。

さて、それ以外の本協会の取組としては、ワールドアスリート発掘・育成プロジェクトのプログラムの実施及び2期生のオーディションの開催、チャレンジマッチの実施、女性アスリート研修会の実施、スポーツ少年団大会の実施や指導者協議会を確立するなどの様々な事業を展開してまいりました。まだまだ課題等もありますが、それらを真摯に受け止め、全力で改善に取り組む覚悟であります。今後とも御指導・御鞭撻の程をよろしく願いいたします。

最後になりましたが、広報誌「宮崎体協」の発刊に際しまして、御多忙の折、本誌への寄稿・写真提供をいただきました方々に心からお礼を申し上げ編集後記とさせていただきます。



●事務局●

公益財団法人 宮崎県体育協会
〒889-2151 宮崎市大字熊野字島山1443-12
KIRISHIMA ヤマザクラ宮崎県総合運動公園受付・案内所2F
TEL 0985-58-5633 FAX 0985-58-5630
E-mail / miyazakiken@japan-sports.or.jp

●発行所●

公益財団法人 宮崎県体育協会
編集発行人 川崎 重雄

●表紙写真●

第71回国民体育大会

平成28年度『チームみやざき応援グッズ』
みやざき犬ポロシャツ・Tシャツの販売について

1 趣 旨

公益財団法人宮崎県体育協会では、「チームみやざき」のPRと、宮崎県シンボルキャラクターみやざき犬のアピールを図るとともに、本県のスポーツ活動を応援するため、本年度もポロシャツ・Tシャツの商品を販売します。

2 販売品

- ポロシャツ(3色) ・ピンク(新商品) ・ネイビー ・ホワイト
- Tシャツ (2色) ・ネイビー ・ホワイト



サイズ

SS , S , M , L , O , XO , 2XO , 3XO , 4XO , 5XO , 6XO
※ ピンクについては、(SS~2XO)

3 販売価格 (消費税込み)

- ポロシャツ 3,500円(SS~3XO) 3,700円(4XO~6XO)
- Tシャツ 2,500円(SS~3XO) 2,700円(4XO~6XO)

4 販売対象者

小学生、中学生、高校生、一般、その他スポーツ愛好者の方々

5 販売方法

- (1) 本協会HP専用リンクから注文書をダウンロードし、本協会事務局へFAX等でご注文ください。
 - (2) 代金を指定の口座へ振り込みください。
 - (3) 振込を確認後、本協会事務局から注文された方々へ商品を発送いたします。
※送料は購入者ご負担となります。ご了承ください。
※直接取りに来られる方は、本会事務局にお願いします。
- (KIRISHIMAヤマザクラ 宮崎県総合運動公園入口 受付案内所2階)

その他

- ポロシャツ及びTシャツは、国民体育大会における本県準ユニフォームとしても着用できます。
- 注文・お問合せは、本協会ホームページをご覧ください。



私たちは
宮崎のスポーツを
応援します。

日本体育大学宮崎県同窓会

ご連絡とお問合せは

〒 886-0213 宮崎県小林市野尻町三ヶ野山3164-2

電話・FAX 0984-44-1312

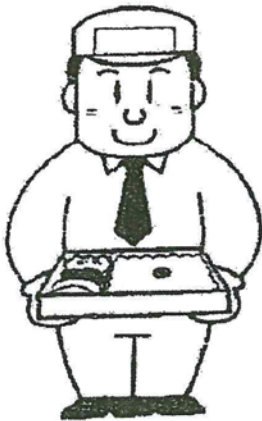
日本体育大学宮崎県同窓会会長

後藤 憲一

日本体育大学宮崎県同窓会事務局長

鶴水 義広

弁当はお任せください



地元ならではの材料で
作る美味しい手作り弁
当はいかがでしょう！
大会前日までにご予約
いただいた方にはさら
にサービスいたします。

手作り弁当
マロ

県総合運動公園前

TEL 0985-58-0785

FAX 0985-58-1252

大 正 7 年 創 業

小川屋伝統の安心と信頼の味でおもてなし



小川屋

会席・折詰・弁当・オードブル

各種会合、行事、スポーツ大会等にご用意いたします！
配達・空回収も承りますのでお気軽にご相談下さいませ。

【宮崎店】

宮崎県宮崎市柳丸町 144
TEL 0985-22-5251 FAX 0985-23-5904

【都城店】

宮崎県都城市宮丸町 2794
TEL 0986-36-6555 FAX 0986-36-6556

ホームページ <http://www.ogawaya.org>



株式会社 タダスポーツ

宮崎のスポーツシーンを応援します



〒880-0841 宮崎市吉村町曾師前甲3169-4
TEL 0985-24-2639 FAX 0985-33-9552
Mail: tada-sports@ninus.ocn.ne.jp



整形外科
リウマチ科
リハビリテーション科
外科

日本整形外科学会 整形外科専門医 院長 河野 雅行

☎ 0985-39-3313(代)
病棟用 39-2633

診療時間

A.M.8:00 ~ P.M.7:00
休診日/日曜・祝日・土曜午後

宮崎市大字島之内 7309
<http://www.miyabi-kai.jp/>

【バス】10号線沿い住吉停留所 徒歩3分
【鉄道】JR日豊本線 住吉駅 徒歩10分

駐車場あり
60台

「夢、感動、
チャレンジ」

名鉄観光はスポーツを
する人をサポートします

名鉄グループの幅広いネットワークで一翼を担います

 名鉄観光

名鉄観光サービス(株)宮崎支店

〒880-0001 宮崎市橘通西2丁目4-20 (アクア宮崎ビル5階)
TEL 0985-26-1414・FAX 0985-20-7355
E-MAIL : miyazaki@mwt.co.jp



東武トップツアーズ
TOBU TOP TOURS

宮崎支店

〒880-0805

宮崎市橘通東3-1-47 宮崎プレジデントビル4階

TEL 0985-25-6111 FAX 0985-29-3010

2026年二巡目

宮崎国体を成功させよう！



私たちは
宮崎のスポーツを応援します

賛助会員募集中

公益財団法人宮崎県体育協会では、宮崎のスポーツを応援する「賛助会員」を募集しています。詳しくは、本協会にお問い合わせ下さい。

〒889-2151 宮崎県宮崎市大字熊野字島山1443-12

KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園受付案内所2F

TEL (0985) 58-5633

FAX (0985) 58-5630

ホームページアドレス : <http://www.miyazakiken-taikyo.jp>

メールアドレス : miyazakiken@japan-sports.or.jp



のどをうるおすだけの 飲料ではありません。

「のどが潤いた」と言うとき、
潤っているのはのどだけではありません。
必要な水分とイオンが失われて、カラダ全体が潤っているのです。
ポカリスエットは、体内の水分に近いイオンバランス。
カラダに必要な水分と電解質をすばやくとり戻せます。
カラダのことを考えれば、潤きにはポカリスエット。

イオンサプライ ポカリスエット
POCARI SWEAT



日本旅行の

新しい旅のテーマです

「自然にやさしい旅」
「体にやさしい旅」
「こころにやさしい旅」



株式会社日本旅行 宮崎支店

観光庁長官登録旅行業第2号

〒880-0812 宮崎県宮崎市高千穂通り1-6-35 住生生命宮崎ビル1F
TEL:0985-24-5255 FAX:0985-24-9162
営業時間:平日 9:30~17:30 土・日・祝休業



旅行業公正取引
協議会 会員



(社) 日本旅行業協会正会員
ボンド保証会員



感動のそばに、いつも。

おいしい空気に
出会うのも旅。



JTB九州は「スポーツランドみやざき」を応援します！

JTB 九州宮崎支店

JTB協定旅館ホテル連盟宮崎支部
JTB協定タクシー連盟宮崎会

〒880-0805

宮崎県宮崎市橘通東 4-7-28

電話／0985-29-3511

ファックス／0985-27-1124

<http://www.jtb.co.jp/shop/miyazaki/>

25th Anniversary

おかげさまで25周年

MTS 株式会社 宮崎ツアースervice



イオンモール宮崎店
〒880-0834
宮崎市新別府町江口 862-1
イオンモール宮崎 2F
TEL 0985-61-3111
FAX 0985-61-3221
●営業時間
9:00～21:00
(年中無休)



イオンモール都城駅前店
〒885-0023
都城市栄町 4672-5
イオンモール都城駅前 2F
TEL 0986-46-5700
FAX 0986-46-5701
●営業時間
9:00～21:00
(年中無休)



本社営業所
〒886-0004
小林市細野 288-1
TEL 0984-23-5551
FAX 0984-23-5524
●営業時間
9:00～18:00
(日曜・祝日休)



ツーリストプラザ鹿児島
〒891-0115
鹿児島市東開町 7
イオンモール鹿児島 2F
TEL 099-201-6300
FAX 099-201-6301
●営業時間
10:00～22:00
(年中無休)